



ケンコー デジタルカメラ
DSC-1600
取扱説明書

このたびはデジタルカメラ「DSC1600」を
お買い上げいただき、ありがとうございます。
ご使用前には必ず取扱説明書をよくお読みいただき、
安全に正しくお使いください。
また、取扱説明書は必ず大切に保管しておいてください。



目次

はじめに	03
安全上のご注意	04
カメラの紹介	07
セット内容	07
各部の名称	08
ご使用の前に	10
電池の取り付け	10
アルカリ乾電池に関する安全上の注意	11
SD/SDHCメモリーカードを使用する場合	12
SD/SDHCメモリーカードを取り付ける	13
SD/SDHCメモリーカードを使用する前に	13
ファイル名/ディレクトリ名を変更しない	13
SD/SDHCメモリーカードのフォーマット	14
ネックストラップの取り付け	16
電源のオン/オフ	16
日時と時刻の設定	18
言語の設定	19
液晶モニターアイコン	19
静止画撮影モード	19
静止画再生モード	20
動画撮影モード	21
動画再生モード	22
音声再生モード	23
静止画・動画の撮影	24
静止画の撮影	24
ズーム撮影	25
静止画撮影モードの切替	26
静止画シーンの切替	27
フラッシュ撮影	29
撮影距離	30
顔認識	31
液晶表示	32
再生モード	33
インテリジェントモード	34
S(シャッター速度優先)モード	35
A(絞り優先)モード	36
M(マニュアル露出)モード	37
パレラモード	38
連写モード	39
機能メニュー	40
静止画サイズ	41
画質	42
動画サイズ	43
露出補正	44
ホワイトバランス	45
ISO感度	46
測光方式	47
色効果	48

静止画撮影メニュー	49
セルフタイマー(ドライブモード)	50
AF領域	51
AFランプ	51
シャープネス	52
彩度	52
コントラスト	53
デジタルズーム	54
日付プリント(日付スタンプ)	55
プレビュー	55
手ぶれ軽減機能	56
オークションモード	57
笑顔認識機能	58
まばたき検出機能	59
動画の撮影	60
音声の録音	61
再生モード	62
静止画ファイルの再生	62
再生ズーム	62
動画ファイルの再生	63
動画シーンを静止画として保存	64
音声ファイルの再生	65
音声メモ(ボイスメモ)の再生	66
クイック消去	67
回転	67
サムネイル表示	68
カレンダーモード	68
再生メニュー	69
画像消去	70
「一枚」を選択した場合	70
「マルチ」を選択した場合	71
「全て」を選択した場合	71
スライドショー	72
保護(プロテクト)	73
「一枚」を選択した場合	74
「マルチ」を選択した場合	74
「全てロック」を選択した場合	75
「全てロック解除」を選択した場合	75
赤目補正	76
音声メモ(ボイスメモ)の付加録音	77
色効果(カラーコード)	78
トリミング	79
サイズ調整	80
起動画面の設定(起動画像)	81
DPOF	82
「一枚」を選択した場合	83
「全て」を選択した場合	84
「リセット」を選択した場合	84
放射状のぼかし	85

設定モード	86
設定メニュー	86
操作音	87
自動電源オフ(省電力)	88
液晶の減光	89
日付設定	89
言語	89
ファイル番号	90
TV放送方式	90
液晶輝度	91
電池の種類	92
メモリーカード	93
初期設定(全てリセット)	94
プリンターとの接続	95
プリンターとの接続	95
「プリント」を選択した場合	96
「すべてプリント」を選択した場合	97
「プリントインデックス」を選択した場合	98
パソコンとの接続	99
パソコンへ接続する	99
転送時のご注意	100
ファイル名について	100
付属アプリケーション	101
付属ソフトの説明	101
Media Impression	101
User Manual Guide	101
Adobe Acrobat Reader	101
付属ソフトのインストール	102
Media Impressionのインストール	102
Adobe Acrobat Readerのインストール	104
付属CD-ROM内の取扱説明書(User Manual Guide)	105
付属ソフトを使用する	106
Media Impressionを使用する	106
トラブルシューティング	107
こんなときは	107
記録可能枚数	108
静止画の記録枚数	108
仕様	109
製品仕様	109
パソコン環境	110
保証規定	114
保証書	115



はじめに

このたびは、デジタルカメラ「DSC 1600」をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
ご使用の前に、この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
また、お読みになったあとは、いつでも見られるところに大切に保管してください。

ご使用前にお読みください。

- 結婚式や旅行など大切な撮影の前には必ず事前にテスト撮影を行ってください。
- 著作権や肖像権などにお気をつけください。撮影を制限されている場所もありますのでお気をつけください。
また、プライバシーを侵害するような撮影は行わないでください。
- 本製品の故障およびその他の理由により生じた画像データの破損、消失による利益損失、損害などに関し、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品の使用および故障により生じた直接、間接の損害に関し、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本取扱説明書の誤りなどについての補償はご容赦ください。
- 本取扱説明書の図、写真、パソコンディスプレイの画面などは説明のために作成したものです。あらかじめご了承ください。
- 本製品に付属しているソフトウェアを営利目的として無断でコピーしたり配布することは禁止されています。
- 本取扱説明書の内容の一部もしくは全部を無断で複写することは、個人で楽しめる場合を除き禁止されています。
- 製品改良のため予告なく外観、仕様などを変更することがあります。
- 本取扱説明書に記載のシステム名、商品名および会社名は各社の商標または登録商標です。
- カメラを長時間使用するとカメラ本体が熱くなりますが、これは異常ではありません。
- 液晶モニターに使用されている液晶パネルは、非常に高精度な技術で作られておりますが、画素欠けや常時点灯があります。
使用部品メーカーの保証値となりますので、あらかじめご了承ください。



安全上のご注意 必ずお読みください

本製品を安全にご使用いただくために、下記の項目をご使用前に必ずお読みになり、正しくお使いください。

本製品を正しくご使用いただき、お使いになる人や他の人々への危害と財産への損害を未然に防止するために、次の絵表示で説明しています。

 危険	この指示に従わないで誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う切迫した危険の発生が想定される内容です。
 警告	この指示に従わないで誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
 注意	この指示に従わないで誤った取扱いをすると、人が障害を負う可能性または、物的損害が生じる可能性が想定される内容です。

危険

- 可燃ガス、爆発性ガスなどが、大気中に存在する恐れのある場所での本製品の使用はおやめください。
引火・爆発の原因となります。
- 本製品を分解したり、直接ハンダ付けするなどの 加工および、火中投入などは行わないでください。
発熱、発火、破裂の危険があります。
- 本製品を高温の場所(真夏の車内、窓辺、暖房器具のそばなど)で使用、保管しないでください。



安全上のご注意 必ずお読みください



警告

- 本製品で太陽または強い光源を見ることは絶対にしないでください。失明など永久視力障害の原因となります。
- 目に深刻な損傷を与える恐れがありますので、近距離（1メートル以内）でフラッシュを発光させないでください。
- 本製品を歩行中、または運転中に絶対使用しないでください。交通事故の原因となります。
- 本製品を足場の悪い環境や、不安定な場所で使用しないでください。事故の原因となります。
- 本製品は防水構造ではありません。水をかけたり、濡らしたりしないでください。
製品内部に水が入ると火災や感電、故障の原因となります。
- カメラに何らかの液体が入った場合、使用を中止してください。
電源を切り、お近くの販売店にお問い合わせください。
- 感電の恐れがありますので、濡れた手でカメラを触らないでください。
- カメラの分解や改造は行わないでください。火災や感電、故障の原因となります。
内部の点検や修理は販売店もしくは当社までご依頼ください。
- 本製品を室外で使用中に落雷の恐れがある場合、すみやかに使用をやめてください。事故の原因になります。
- 小さな付属品を飲み込む恐れがありますので、お子様やペットの手の届く範囲にカメラを放置しないでください。
- ケーブルやストラップが首に巻き付くと窒息の危険があります。お子様の手の届かないところに保管してください。
- ポリ袋（包装用）などを小さなお子様の手の届くところに置かないでください。
口にあてて窒息の原因になることがあります。



安全上のご注意 必ずお読みください

注意

- 本製品は精密な電子機器です。以下のような場所で使用したり放置すると火災や感電、故障の原因となることがありますので避けてください。
 - 砂、ほこり、ちりの多い場所
 - 火の近く
 - 湿ったところ
 - 振動の激しい場所
 - 温度・湿度の変化が激しい場所
- 車内は、温度変化が激しく高温あるいは低温になり振動もありますので使用および保管は避けてください。
- カメラを落としたりぶつけたりして強い振動や衝撃を与えないでください。
- レンズを直射日光に向けて撮影または放置しないでください。
集光により内部の部品が破損し、火災などの原因となります。
- 電極部分などには一切触れないでください。感電や故障の原因になります。
- 本製品を保管するとき、上に重い物を載せないでください。故障の原因になります。
- 本製品に付属のケーブルを接続するとき、無理矢理入れたり外したりしないでください。故障の原因になります。
- 付属のCD-ROMはパソコン専用のソフトです。
音楽用CDプレイヤーで再生することはしないでください。聴覚障害を引き起こす恐れがあります。
- ストラップを持って振り回さないでください。他人に当たり、けがや事故の原因となることがあります。

その他のご注意

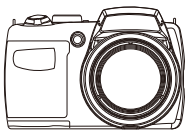
- 電池は、一般に低温になるにしたがって一時的に性能が低下します。寒冷地で使用するときは、本製品を防寒具や衣服の内側に入れるなどして保温しながら使用してください。低温により性能が低下した電池は、常温に戻ると性能は回復します。
- 撮影条件、使用環境および電池により撮影枚数が減少する場合があります。
- 本製品のレンズや液晶モニターが汚れたとき、市販のクリーニング布で拭き取ってください。
汚れたままですと、鮮明な写真を撮影することができません。



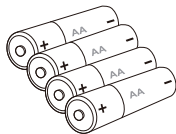
カメラの紹介

▶ セット内容

以下のセット内容が揃っているかどうか、ご確認ください。



デジタルカメラ本体



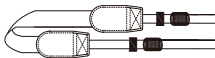
単3形アルカリ乾電池 (4本)



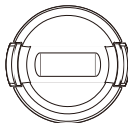
取扱説明書 (本書)



クイックスタートガイド



ネックストラップ



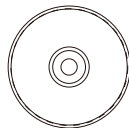
レンズカバー



Quick Start Guide



USB-PC接続ケーブル



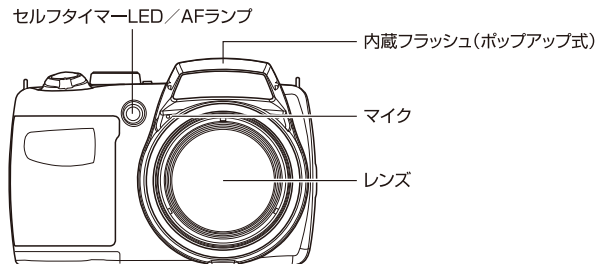
CD-ROM
(パソコン用のソフトウェア)



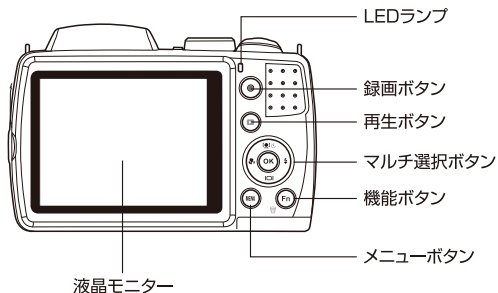
カメラの紹介

各部の名称

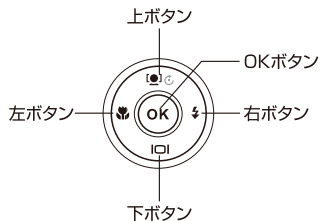
前面



背面



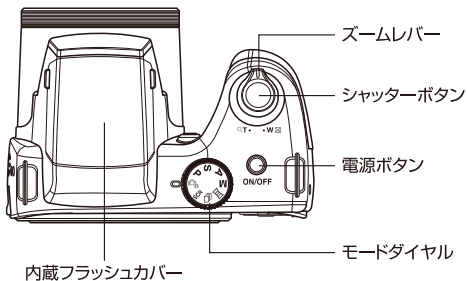
マルチ選択ボタン



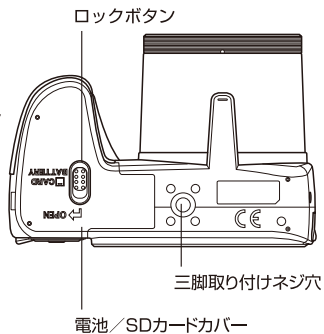


カメラの紹介

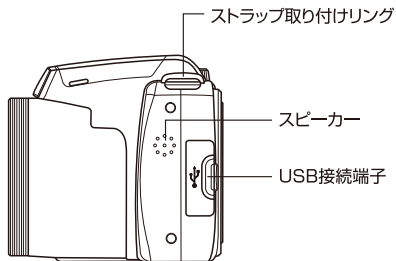
上面



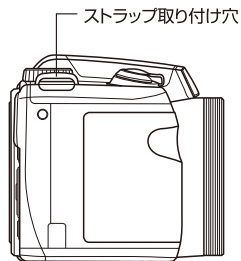
底面



左側面



右側面

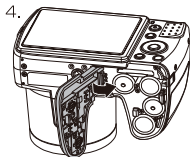
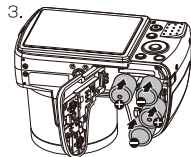
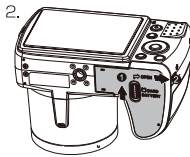




ご使用の前に

電池の取り付け

1. カメラの電源をオフにします。
2. 電池／SDカードカバーのロックボタンを「OPEN」方向にスライドさせ、
電池／SDカードカバーを 方向にスライドさせて開きます。
3. 電池の+側-側を確認し、
単3形乾電池4本を正しい方向でセットします。
4. 電池／SDカードカバーを閉め、押し込みながら
方向と反対方向に少しスライドして固定します。



- 電池をカメラ本体から着脱する場合は、必ず電源をオフにした状態で行ってください。
電池／SDカードカバーの開閉時、電源ボタンに触れないようにご注意ください。
- 電池は+方向に注意し、正しくセットしてください。
- P.92「電池の種類」を設定してください。電池残量表示をより正確にします。
- カメラを正しく作動させるために、お使いの電池を正しく選択してください。



◆電池残量については、液晶モニター上のバッテリーアイコンに表示されます。電池残量表示は目安です。

- 電池の残量は充分です。
- 電池の残量は半分程度です。
- 電池の残量が少なくなっています。予備を準備してください。
- 電池の残量がありません。電池を交換してください。

- ◆ 付属の単3形アルカリ乾電池、単3形ニッケル水素充電電池またはリチウム乾電池をご使用ください。
- ◆ 電池をカメラの中に入れたまま長期間（およそ1ヶ月以上）カメラを使用しないと、電池が消耗します。
カメラを使用しないときは電池を取り出してください。
- ◆ カメラの操作に必要な電源を得ることができないマンガン電池は、使用できません。
- ◆ 電池は、気温0℃以下または40℃以上では正常に動作しない場合があります。
カメラを長時間使用すると電池およびカメラの本体が熱くなりますが、これは異常ではありません。



ご使用の前に

リチウムイオン充電電池に関する安全上の注意 (対象:リチウムイオン充電電池使用カメラ)



警告 リチウムイオン充電電池をご使用前に必ず、下記の安全上の注意をお読みください。

- ①初回使用時はフル充電してください。付属の充電器以外で充電しないでください。
- ②ショート、分解、加熱、充電(+)、(-)の逆方向のセットはしないでください。
- ③液漏れ等の異常が発見された場合、ただちに使用を中止してカメラから取り外し、お買い上げ先等にお申し出ください。
電解液が、皮膚や衣服に付着した場合は、失明やケガなどの恐れがありますので、きれいな水で洗い流し、すぐに医師の診断・治療を受けてください。
- ④リチウムイオン充電電池をカメラから取り出して保管・持ち運びの場合、安全のためビニール袋・プラスチックケース等に入れてください。
- ⑤リサイクルのお願い



Li-ion

不要になった電池は貴重な資源を守るために廃棄しないで
充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

〈最寄りのリサイクル協力店へ〉

詳細は、社団法人 電池フアイル工業会ホームページをご参照ください。

・ホームページ <http://www.baj.or.jp/>

● 使用済み充電式電池の取扱注意事項

- ー プラス端子、マイナス端子をテープ等で絶縁してください。
- ー 皮覆をはがさないでください。
- ー 分解しないでください。

アルカリ乾電池に関する安全上の注意 (対象:アルカリ乾電池使用カメラ)



警告 アルカリ乾電池をご使用前に必ず、下記の安全上の注意をお読みください。

- ①ショート、分解、加熱、充電、(+) (-)の逆方向のセットをしないでください。使用済みの電池を火に入れるなどしないでください。
また、新しい乾電池と使用した乾電池を混用で使用しないでください。使い切った乾電池はすぐにカメラから取り出してください。
- ②カメラは電源が切れていても微弱電流が流れています。長期間(およそ1ヶ月以上)カメラを使用しない場合は、乾電池を取り外して保管してください。
- ③乾電池は乳幼児の手の届かない所に置き、乾電池を飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。乾電池のアルカリ液がもれて、皮膚や衣服に付着した場合は、失明やケガなどの恐れがありますので、きれいな水で洗い流し、すぐに医師の診断・治療を受けてください。
- ④同梱品の乾電池はサンプルです。使用可能時間が一般的な乾電池に比べて短い場合があります。
- ⑤使用済みの乾電池は、お住まいの自治体が定めた方法で処分してください。

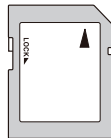


ご使用の前に

SD/SDHCメモリーカード(別売)を使用する場合

本製品で撮影した画像は、通常カメラ本体の128MB内蔵メモリーに記録されます。
SDメモリーカード(別売)をカメラ底面のSDメモリーカードスロットにセットして撮影・録画すると、
撮影・録画した画像は自動的にSDメモリーカードに記録されます。

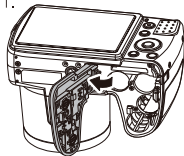
SDメモリーカード



- このカメラに使用できるメモリーカードの仕様は、SDメモリーカード32MB～2GB、SDHCメモリーカード32GBまでです。
その他の種類のカードを使用しますと、製品及びカードが故障する可能性があります。
- 内蔵メモリーのユーザ使用可能領域は約108MBです。

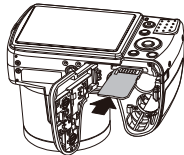
SD/SDHCメモリーカードを取り付ける

1.



SDメモリーカードはカメラ底面のSDメモリーカードスロットにセットします。
電池／SDカードカバーの開閉は、P.10「電池の取り付け」をご覧ください。

- SDメモリーカードの接触面がモニター側になるようにして、
SDメモリーカードスロットにカチッと音がするまで押し込みます。
- SDメモリーカードを取り外す時は、SDメモリーカードがカチッと音がするまで軽く押し込みます。
SDメモリーカードが少し飛び出ます。



- ◆ 新しいSDメモリーカードを使用される際は、あらかじめSDメモリーカードの初期化(P.14参照)をしてください。
- ◆ 他のカメラ等で記録されたファイルを保存したSD/SDHCメモリーカードをセットすると誤動作する場合があります。
- ◆ 撮影した画像に付けられるファイル名の番号(DSCI XXXX)は、SDメモリーカード内の画像を消去しても、連続してカウントされます。番号をリセットする場合は、カメラのフォーマット機能(P.14参照)でカードを初期化してください。



- 押し込みにくい場合は、挿入する方向が間違っている可能性があります。無理に挿入しないでください。
- SDメモリーカードをカメラ本体から着脱する場合は、必ずカメラの電源をオフにした状態で行ってください。
- すべてのSDメモリーカードで動作を保証するものではありません。

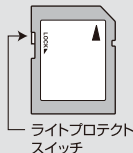


ご使用の前に

SD/SDHCメモリーカードを使用する前に



- ◆新品のSDメモリーカードは使用前に本製品でフォーマット(初期化)してください。
- ◆SDメモリーカードをセットすると、カメラはSDメモリーカードを認識し、内蔵メモリーを認識しません。
- ◆この他にも、取り扱いに関する注意事項がP.3～6に記載されていますので必ずよくお読みください。
- ◆下記の注意事項をよくお読みになり、正しい取り扱いを行ってください。
 - パソコンに接続、データ転送中や、撮影／再生中にSDメモリーカードを引き抜かない
パソコンとカメラを接続し、撮影したデータをパソコンに転送している最中や、撮影中または再生中にSDメモリーカードをカメラから引き抜かないでください。撮影した画像データ、SDメモリーカードおよびカメラ本体が破損する恐れがあります。
 - SDメモリーカードのフォーマット(初期化)はカメラで
本製品にはSDメモリーカードをフォーマット(初期化)する機能がついています。フォーマットは必ず本製品で行ってください。フォーマットすると既に記録されている画像データは全て消去されますのでご注意ください。
 - ライトプロテクトスイッチについて
SDメモリーカードにはライトプロテクトスイッチ機能がついています。
下にスライドすると、SDメモリーカードはロックされ、SDメモリーカードへの記録／消去が禁止され、保存されている画像などのデータが保護されます。記録／消去する場合はロックを解除してください。



ファイル名／ディレクトリ名を変更しない

パソコンでSDメモリーカードに保存されている画像データのファイル名やディレクトリ名を変更したり、カメラで記録された画像データ以外のファイルを書き込まないでください。カメラで認識できなくなり、機能に障害がでる恐れがあります。



- SDメモリーカードは精密機器ですので、無理な力を加えたり、乱暴に扱わないでください。また、SDメモリーカードが静電気を帯びていると、うまく認識されなかったり、カメラの誤作動など障害が起こる恐れがあります。
- SDメモリーカードを使用中、誤作動や故障により記録内容が失われることがあります。記録されたデータの破損、消失につきましては、故障や損害の内容および原因にかかわらず、当社では一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
- SDメモリーカードに異常があると思われる場合は、フォーマットすることで正常に動作する場合があります。その際は、本製品のフォーマット機能をお試しください。(フォーマットすると、記録されている画像データは全て消失されますので、あらかじめご了承の上、フォーマットを行ってください。必要に応じてデータをパソコンやCDにコピーしてからフォーマットしてください。)
- 電極部(金色の金属部分)が汚れてしまった場合は、乾いた清潔な布などで汚れを軽く拭き取ってください。



ご使用の前に

SD/SDHCメモリーカードのフォーマット

メモリーをフォーマット(初期化)する機能です。



SD/SDHCメモリーカードがセットされていない場合は、内蔵メモリーがフォーマットされます。



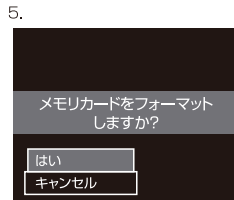
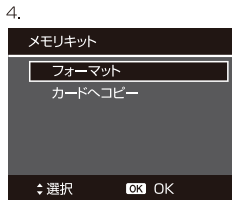
- SDメモリーカードをこのカメラで使用する前には、必ずフォーマットを行ってください。
- フォーマットを行うとSDメモリーカードに記録された全てのデータが消去され、初期化されますのでご注意ください。
- SDメモリーカードのフォーマットは、必ず本製品のフォーマット機能で行ってください。(パソコン上でフォーマットした場合、動作保証できません。)
- 保護設定を行ったファイルでも、フォーマットを実行すると消去されてしまいます。
- フォーマットする前に必要に応じてファイルをパソコンやCDにコピーしてください。
- SDメモリーカードのライトプロテクトスイッチ(P.13参照)でロックしている場合、フォーマットは行われません。

次ページに続く



ご使用の前に

1. カメラの電源をオンにします。
2. メニューボタンを押し、マルチ選択ボタン(以降は、マルチ選択ボタンを省略して上または下、左または右ボタンと記載)の左または右ボタンを押し、「設定モード」にします。
3. 上または下ボタンを押して「メモリキット」を選択し、OKボタンを押し、サブメニューに入ります。
4. 上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択してOKボタンを押します。
 フォーマット : フォーマットします。
 カードへコピー : 内蔵メモリー内のファイルがSDメモリーカードにコピーされます。
5. 上または下ボタンを押して選択し、下記のいずれかを選択してOKボタンを押して決定します。
 はい : フォーマットします。
 キャンセル : フォーマットしません。



- ◆ フォーマットしますと全てのデータが削除されますのでご注意ください。プロテクトされたデータも削除されます。
 - ◆ 削除されたデータ(画像等)は元に戻りませんのでご注意ください。
 - ◆ SD/SDHCメモリーカードがセットされていない場合は、内蔵メモリーがフォーマットされます。
- ※ 設定により表示は異なります。



ご使用の前に

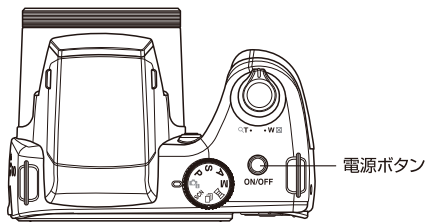
▶ ネックストラップの取り付け

図を参考にして、ネックストラップを取り付けてください。



▶ 電源のオン／オフ

電源ボタンを押すと、カメラの電源がオンになります。
再度電源ボタンを押すと、カメラの電源がオフになります。



- ◆ 電源を入れると、緑色のLEDランプが点灯し、液晶モニターが表示されます。
- ◆ 一定時間以上カメラを操作しない時間が続くと、自動的にモニターがオフになり、その後カメラの電源がオフになります。P.88「自動電源オフ」をご覧ください。
- ◆ モニターがオフの場合、いずれかのボタンを押すとモニターがオンになります。
- ◆ 電源オフの状態でも再生ボタンを押すと、電源がオンになり、再生画面が表示されます。



ご使用の前に

日付と時刻の設定

カメラをご使用の前に、日付と時刻の設定を行います。

1. カメラの電源をオンにします。
2. メニューボタンを押します。
3. 右または左ボタンを押して「設定」を選択し、設定メニューを表示します。
4. 上または下ボタンを押して「日時」を選択し、OKボタンを押してサブメニューに入ります。
5. 左または右ボタンを押して項目を選択し、上または下ボタンで数値を調整し、右ボタンを押して次の項目（例えば年→月）に移動します。
6. 年／月／日の表示順序を変更する場合は、年／月／日の項目を選択し、上または下ボタンを押して、表示順序を決定します。
7. すべての数値の調整が終わりましたらOKボタンを押して決定します。
8. メニューボタンを押すと、撮影画面に戻ります。

2.



3.



4.



5.



- ◆ 日付／時刻は初期設定（リセット）しても初期設定には戻りません。
- ◆ 選択されている項目は、黄色の枠で表示されます。
- ◆ 設定により表示は異なります。
- ◆ 日付／時刻は、静止画・動画共にファイルデータとして記録されますので、できるだけ正確に設定してください。

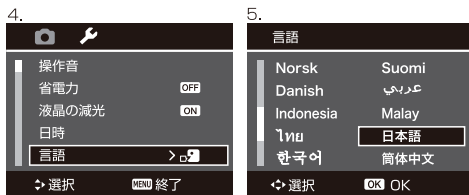


ご使用の前に

言語の設定（初期設定：日本語）

カメラをご使用の前に、言語の設定を行います。

1. モードダイヤルで**SCN**（シーンモード）を選択します。P,26「静止画撮影モードの切替」をご覧ください。
1. カメラの電源をオンにします。
2. メニューボタンを押します。
3. 右または左ボタンを押して「設定 」を選択し、設定メニューを表示します。
4. 上または下ボタンを押して「言語」を選択し、OKボタンを押してサブメニューに入ります。
5. 上／下または左／右ボタンを押して使用する言語を選択し、OKボタンを押して決定します。
6. メニューボタンを押すと、撮影画面に戻ります。



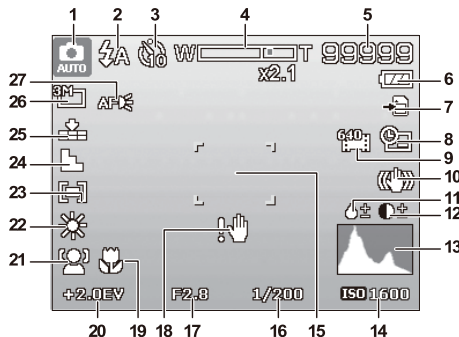
- ◆ 言語は初期設定（リセット）しても初期設定には戻りません。
- ◆ 選択されている項目は、黄色の枠で表示されます。
- ◆ 31の言語に対応しています。
- ◆ 設定により表示は異なります。



ご使用の前に

液晶モニターアイコン

静止画撮影モード



- 1. モード
- 2. フラッシュモード
- 3. セルフタイマー
- 4. ズームインジケータ
- 5. 記録可能枚数(目安です)
- 6. 電池残量
- 7. メモリー

- 8. 日付プリント
- 9. 動画サイズ
- 10. 手ブレ軽減
- 11. 彩度
- 12. コントラスト
- 13. ヒストグラム
- 14. ISO感度

- 15. フォーカスフレーム
- 16. シャッタースピード
- 17. 絞り値
- 18. 手ブレ警告
- 19. マクロモード
- 20. 露出補正
- 21. 顔認識

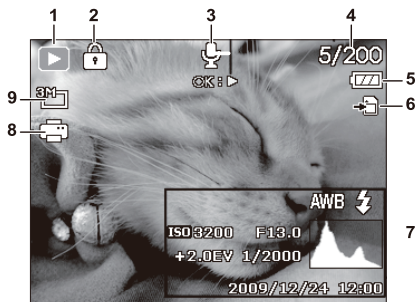
- 22. ホワイトバランス
- 23. 測光方式
- 24. シャープネス
- 25. 画質
- 26. 静止画サイズ
- 27. AFランプ

※設定により表示されるアイコンは異なります。



ご使用の前に

▶▶ 静止画再生モード



1. 再生モード
2. 保護
3. 音声メモ
4. 現在のファイル／全てのファイル数
5. 電池残量
6. メモリー
7. 撮影情報
8. DPOF
9. サイズ

※設定により表示されるアイコンは異なります。



ご使用の前に

📽 動画撮影モード



1. キーインジケータ
2. 録画時間／録画可能時間(目安です)

※設定により表示されるアイコンは異なります。



ご使用の前に

動画再生モード



1. 再生モード
2. 保護
3. 動画ファイル
4. キーインジケータ
5. 現在のファイル／全てのファイル数
6. 電池残量
7. メモリー
8. 撮影情報
9. サイズ
10. 音量
11. 再生時間／撮影時間

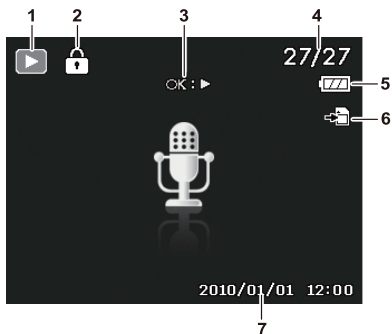
※設定により表示されるアイコンは異なります。





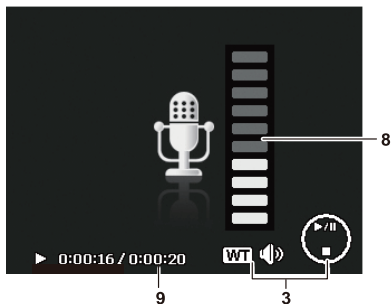
ご使用の前に

音声再生モード



1. 再生モード
2. 保護
3. キーインジケータ
4. 現在のファイル／全てのファイル数
5. 電池残量
6. メモリー
7. 録音情報
8. 音量
9. 再生時間／録音時間

※設定により表示されるアイコンは異なります。





静止画・動画の撮影

静止画の撮影

静止画を撮影します。

1. カメラの電源をオンにします。
2. 撮影モードを選択します。P.26「静止画撮影モードの切替」をご覧ください。
3. 液晶モニターで被写体を捉えます。必要に応じてズームを使用して構図を決めます。
4. シャッターボタンを半押ししてピントを合わせ、カメラをしっかりと構えてシャッターボタンを完全に押し込んで撮影します。

4.



※設定により表示されるアイコンは異なります。



- ◆シャッターボタンを軽く押すと、途中で少し止まる場合があります。ここまで押すことを半押しと呼びます。
- ◆半押し状態の時、カメラが自動的に露出とピントを合わせます。ピント・露出が決定するとフォーカスフレームが緑色になります。ピントが合わない場合はメインフォーカスフレームが赤色になります。赤色になった場合、正しい撮影距離（P.30参照）で撮影されているかどうかご確認ください。
- ◆被写体周辺の光量が不足している場合、シャッター速度が遅くなり、液晶モニターに手ブレ警告アイコン  が表示されます。カメラをしっかりと構え、手ブレにご注意ください。フラッシュまたは三脚等の使用をおすすめします。
- ◆屋内での撮影時、蛍光灯・LEDランプが直接画角内に入ると、モニターがチラ付く場合があります。あらかじめご了承ください。



静止画・動画の撮影

ズーム撮影

カメラには21倍の光学ズームが搭載されています。

さらに5倍のデジタルズームと組み合わせ、撮影を行うことができます。

＜光学ズームのみを使用する場合＞

1. ズームレバーをT側 **QT** に回すと、光学ズームがズームイン(拡大)します。
2. ズームレバーをW側 **W** に回すと、光学ズームがズームアウト(縮小)します。

＜デジタルズームを使用する場合＞

1. P.54「デジタルズーム」をご覧くださいの上、デジタルズーム機能が有効になっていることを確認します。
2. ズームレバーをT側 **QT** に回すと、光学ズームがズームイン(拡大)します。
光学ズームの倍率が上限の21倍に達すると、ズームが停止します。
3. 一度ズームレバーから指を離し、再度ズームレバーをT側 **QT** に回すと、
デジタルズームがズームイン(拡大)します。
4. ズームレバーをW側 **W** に回すと、デジタルズームがズームアウト(縮小)します。
デジタルズーム1倍でズームが停止します。
5. 一度ズームレバーから指を離し、再度ズームレバーをW側に回すと、
光学ズームがズームアウト(縮小)します。



光学ズーム (1倍～21倍) デジタルズーム (1倍～5倍)



※設定により表示されるアイコンは異なります。



- ◆ デジタルズームの倍率が大きくなると、撮影した画像の解像度は低下します。
- ◆ 動画撮影では、デジタルズームを使用できません。
- ◆ P.54「デジタルズーム」をご覧ください。

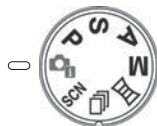


静止画・動画の撮影

静止画撮影モードの切替

静止画撮影モードを選択します。

1. モードダイヤルを回転して白い○に合わせ、下記のいずれかの撮影モードを選択します。



モードダイヤル

	インテリジェント	ビギナー向けにカメラが自動的に最適なシーンモードに設定します。(P.34参照)
	プログラム	DSC1600の設定をフルに活用します。各種設定をご覧ください。
	シャッター優先	シャッター速度を優先し設定します。詳しくはP.35をご覧ください。
	絞り優先	任意の絞り値を優先し設定します。詳しくはP.36をご覧ください。
	マニュアル露出	任意の絞り値とシャッター速度を設定します。詳しくはP.37をご覧ください。
	パノラマ	パノラマの写真を撮影します。詳しくはP.38をご覧ください。
	連写	連写をします。詳しくはP.39をご覧ください。
	シーンモード	様々なシーンで撮影する時に選択します。詳しくはP.27をご覧ください。



◆ 静止画専用機能になります。動画撮影では機能しませんので、あらかじめご了承ください。



静止画・動画の撮影

静止画シーンの切替

静止画シーンの切替を選択します。

1. モードダイヤルで **SCN** (シーンモード) を選択します。
2. メニューボタンを押してから上または下ボタンを押します。
3. 左または右ボタンを押して、シーンを選択し、OKボタンを押して決定します。



SCN	シーンモード	
	ポートレート	人物（ポートレート）の撮影に適しています。
	風景	距離を無限に設定し、風景をくっきり鮮やかに撮影します。
	夕景	夕陽の撮影に適しています。深い色味を演出します。
	逆光	逆光撮影での障害を低減します。
	キッズ	子供の撮影に適しています。しばらく被写体にピントを合わせ続けます。
	夜景	暗い場面での撮影に適しています。三脚等の使用をおすすめします。
	花火	花火を綺麗に撮影します。三脚等の使用をおすすめします。
	雪景色	雪景色の撮影に適しています。
	スポーツ	動きの速い被写体の撮影に適しています。
	パーティ	室内での結婚式やパーティでの撮影に適しています。赤目軽減機能が有効になります。
	キャンドルライト	ロウソクの明かりの中で、雰囲気のある写真を撮影します。
	夜景ポートレート	夜間または暗い背景での人物の撮影に適しています。
	肌色	人物の肌色を綺麗に撮影します。



静止画・動画の撮影

	シーン	流水	滝・渓谷等の撮影に適しています。
		食べ物	彩度を高め、食べ物を美味しそうな色に仕上げます。
		建物	緑を強調して撮影します。建物等の撮影に適しています。
		文字	印刷物などを、白黒をはっきりと強調します。
		木の葉	植物の緑色を鮮やかに再現します。
		オークション	複数のカット（4 カット以内）を一枚の画像に上げることができます。 使用方法は、P.57をご覧ください。
		スマイルキャプチャ	笑顔を検出すると、自動的にシャッターが下ります。P.58をご覧ください。
		まばたき検出	人物が撮影時にまばたきをした際、ファイルの保存またはキャンセルを選択できます。P.59をご覧ください。
		多重撮影	この機能は使用できません。あらかじめご了承ください。
		恋人	二人の顔を検出すると、約2秒後に撮影します。セルフタイマーLEDが点滅します。
		自画像	カメラを向けたご自身の顔を検出すると、約2秒後に撮影します。セルフタイマーLEDが点滅します。
		HDR	部分的にデジタル処理を加え、被写体の明暗差を補正します。
		魚眼レンズ	強いデフォルメ効果で魚眼レンズ風に撮影します。
		音声の録音	音声を録音します。P.61「音声の録音」をご覧ください。



◆ 静止画専用機能です。



静止画・動画の撮影

フラッシュ撮影

内蔵フラッシュを設定します。フラッシュモードは撮影条件に応じて変更します。

1. カメラのフラッシュカバーを開きます。
2. 右ボタンを押して、フラッシュモードを切替えます。

	自動	被写体周辺の光量が不足している場合、自動的にフラッシュが発光します。
	赤目低減	暗い場所などでの撮影時に被写体の目が赤くなるのを最小限に抑えます。フラッシュは二度発光します。
	強制発光	どんな状況でもフラッシュが発光します。逆光などでの撮影時におすすめします。
	スローシンクロ	フラッシュを発光しながら、遅いシャッター速度で撮影します。 手前の人物だけではなく背景もある程度写ります。手ブレを防ぐため三脚の使用をおすすめします。
	発光禁止	どんな状況でもフラッシュが発光しません。 博物館等フラッシュが禁止されている場所や、被写体までの距離が離れている場合におすすめします。

〈フラッシュの有効範囲〉

約1m～3m(Wide)、1m～1.5m(Tele)



- ◆ フラッシュの充電中は、撮影できません。
- ◆ 電池残量が少ない場合、フラッシュの充電に時間がかかる場合があります。
- ◆ 静止画専用の機能です。
- ◆ 撮影モード等により選択できるフラッシュモードが異なります。また使用できない場合もあります。
- ◆ 連写モードの場合、フラッシュは使用できません。
- ◆ 電源をオフすると初期設定に戻ります。
- ◆ フラッシュカバーを閉じると発光禁止になります。



静止画・動画の撮影

撮影距離

フォーカスモードを設定します。

正しい撮影距離で撮影されていない場合、ピントが合いませんのでご注意ください。

1. 左ボタンを押して、フォーカスモードを切り替えます。
ボタンを押す度にフォーカスモードが切り替わります。

1.



フォーカスモードアイコン

表示	モード	撮影距離	説明
無し	標準モード	1m~∞(Wide) 0.8m~∞(中間域) 1.5m~∞(Tele)	
	マクロ(近接)モード	50cm~100cm(Wide) 1cm~80cm(中間域) 150cm~∞(Tele)	文字や草花などの小さな被写体にピントを合わせることができます。
PF	パンフォーカスモード		この機能は使用できません。あらかじめご了承ください。
INF	インフィニティーモード	∞	遠くの被写体にピントを合わせます。風景の撮影に適しています。



- ◆ 電源をオフにすると、標準モードに戻ります。
- ◆ ズームにより撮影距離が変化します。(中間域)とは、W(Wide端)とT(Tell端)の間であり、中央位置を意味するものではありません。
- ◆ 撮影モード等により、選択できるフォーカスモードが異なります。



静止画・動画の撮影

顔認識

顔を検出して、ピントと露出を合わせます。

1. 上ボタンを押します。モニターに顔認識  のアイコンが表示されます。
2. 顔を検出すると白い枠で囲みます。
3. シャッターを半押しします。
ピントと露出が合うと緑色の枠に変わりますのでシャッターボタンを完全に押し込んで撮影します。

4.



顔認識アイコン

※設定により表示されるアイコンは異なります。



◆ すべての状況で動作を保証するものではありません。



ご使用の前に

液晶表示

撮影モード時、液晶モニターの表示を切替えます。下ボタンを押すごとに液晶モニター表示が替わります。

※設定により表示されるアイコンは異なります。

液晶オン



アイコンを全て表示



アイコンを非表示



ガイドライン



◆ AEB・顔認識・フラッシュ・撮影モード・マクロモード・手ぶれ軽減等のアイコンは、「アイコンを非表示」または「ガイドライン」に設定した場合でも表示されます。

◆ 以下のような場合、液晶表示を切り替えることができません。

- ・ マニュアル露出設定画面を表示中の場合
- ・ 動画撮影中および音声録音中の場合

※設定により表示されるアイコンは異なります。



ご使用の前に

再生モード

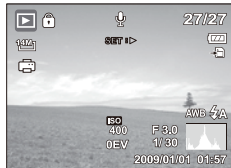
再生モード時、液晶モニターの表示を切替えます。下ボタンを押すごとに液晶モニター表示が替わります。

※設定により表示されるアイコンは異なります。

液晶オン



アイコンを全て表示



アイコンを非表示



※設定により表示されるアイコンは異なります。



◆ 以下のような場合、液晶表示を切り替えることができません。

- ・ 動画ファイルの再生中および音声ファイルの再生中の場合
- ・ スライドショーを再生中の場合



静止画・動画の撮影

インテリジェント モード

撮影状況に合わせて、カメラが自動的に最適なシーンモードに設定します。
ビギナーの方にお勧めです。

1. 「インテリジェントモード」に設定します。
P.26「静止画撮影モードの切替」をご覧ください。
2. 液晶モニターで被写体を捉えたと、カメラが撮影状況に合わせた
最適なシーンモードに切り替えます。
3. シャッターボタンを半押しすると露出とピントが同調しますので
シャッターボタンを完全に押して撮影します。



※設定により表示されるアイコンは
異なります。



- ◆ 液晶モニター左上に、設定中のインテリジェントモード アイコンが表示されます。
- ◆ シャッターボタンを半押しした際に設定中のインテリジェントモード アイコンを確認することができます。
- ◆ 静止画専用の機能です。
- ◆ 顔が検出されると、白いフレームが表示されます。
- ◆ すべての状況で動作を保証するものではありません。



静止画・動画の撮影

☒ S(シャッター速度優先)モード

任意にシャッター速度を設定することにより、動いている被写体を撮ることができます。

シャッター速度を遅くすることにより、流し撮りができます。

シャッター速度を速くすると静止したような写真になります。

1. 「**S** シャッター速度優先」に設定します。P.26「静止画撮影モードの切替」をご覧ください。
2. OKボタンを押します。
3. 左または右ボタンを押してシャッター速度を選択します。選択できるシャッター速度は以下の通りです。

・ 15秒	・ 1.6秒	・ 1/6秒	・ 1/60秒	・ 1/640秒
・ 13秒	・ 1.3秒	・ 1/8秒	・ 1/80秒	・ 1/800秒
・ 10秒	・ 1秒	・ 1/10秒	・ 1/100秒	・ 1/1000秒
・ 8秒	・ 0.8秒	・ 1/13秒	・ 1/125秒	・ 1/1250秒
・ 6秒	・ 0.6秒	・ 1/15秒	・ 1/160秒	・ 1/1600秒
・ 5秒	・ 0.5秒	・ 1/20秒	・ 1/200秒	・ 1/2000秒
・ 4秒	・ 0.4秒	・ 1/25秒	・ 1/250秒	
・ 3.2秒	・ 0.3秒	・ 1/30秒	・ 1/320秒	
・ 2.5秒	・ 1/4秒	・ 1/40秒	・ 1/400秒	
・ 2秒	・ 1/5秒	・ 1/50秒	・ 1/500秒	

4. OKボタンを押して決定します。

3. 4.



※設定により表示されるアイコンは異なります。



◆ 撮影条件と設定により光量が不足あるいはオーバー（過剰）になる場合があります。



静止画・動画の撮影

3. A(絞り優先)モード

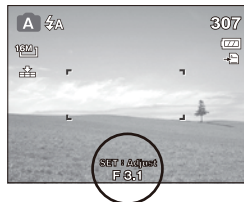
任意の絞り値をセットすると、適正露出に合わせたシャッター速度が自動的に設定されます。絞り値を小さく(開ける)すると、ピントの合う範囲が狭くなり、遠近感が強調されます。絞り値を大きく(絞る)すると、ピントの合う範囲が広くなり、全体にピントが合った写真になります。

1. 「**A** 絞り優先」に設定します。P.26「静止画撮影モードの切替」をご覧ください。
2. OKボタンを押します。
3. 上または下ボタンを押して絞り値を選択し、OKボタンを押します。

選択できる絞り値は以下の通りです。

- ・ F3.1
- ・ F8.9

3.



※設定により表示されるアイコンは異なります。



- ◆絞り値を大きくする(絞る)ほど、多くの光量を必要とします。屋外での撮影に適しています。
光量が少ない状況下では、絞り値を小さくする(開ける)ことをお勧めします。



静止画・動画の撮影

M(マニュアル露出)モード

任意の絞り値とシャッター速度を設定します。

任意の絞り値については、P.36「A(絞り優先)」モードをご覧ください。

任意のシャッター速度については、P.35「S(シャッター速度)」モードをご覧ください。

1. 「**M** マニュアル」に設定します。P.26「静止画撮影モードの切替」をご覧ください。

2. OKボタンを押します。

3. 上または下ボタンを押して絞り値を選択します。選択できる絞り値は以下の通りです。

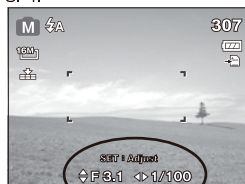
- ☐ F3.1
- ☐ F8.9

4. 左または右ボタンを押してシャッター速度を選択します。選択できる絞り値は以下の通りです。

- | | | | | |
|--------|--------|---------|----------|-----------|
| ・ 15秒 | ・ 1.6秒 | ・ 1/6秒 | ・ 1/60秒 | ・ 1/640秒 |
| ・ 13秒 | ・ 1.3秒 | ・ 1/8秒 | ・ 1/80秒 | ・ 1/800秒 |
| ・ 10秒 | ・ 1秒 | ・ 1/10秒 | ・ 1/100秒 | ・ 1/1000秒 |
| ・ 8秒 | ・ 0.8秒 | ・ 1/13秒 | ・ 1/125秒 | ・ 1/1250秒 |
| ・ 6秒 | ・ 0.6秒 | ・ 1/15秒 | ・ 1/160秒 | ・ 1/1600秒 |
| ・ 5秒 | ・ 0.5秒 | ・ 1/20秒 | ・ 1/200秒 | ・ 1/2000秒 |
| ・ 4秒 | ・ 0.4秒 | ・ 1/25秒 | ・ 1/250秒 | |
| ・ 3.2秒 | ・ 0.3秒 | ・ 1/30秒 | ・ 1/320秒 | |
| ・ 2.5秒 | ・ 1/4秒 | ・ 1/40秒 | ・ 1/400秒 | |
| ・ 2秒 | ・ 1/5秒 | ・ 1/50秒 | ・ 1/500秒 | |

5. OKボタンを押して決定します。

3. 4.



※設定により表示されるアイコンは異なります。



◆ シャッターボタンを半押しすると、適正露出との露出差が表示されます。一側の数値の場合は適正露出より暗く、+側の数値の場合は適正露出より明るい設定を表します。

◆ 撮影条件と設定により光量が不足あるいはオーバー(過剰)になる場合があります。



静止画・動画の撮影

パノラマモード

パノラマ写真を撮影します。

3枚(または2枚)の写真(アングル)をひとつのパノラマ写真として撮影できます。

1. 「 パノラマ」設定にします。P.26「静止画撮影モードの切替」をご覧ください。
2. 上ボタンを押して、カメラの移動方向を「←左方向」または「→右方向」を設定します。
3. しっかりとカメラを構え、被写体を捉えシャッターボタンを押します。撮影された画像が液晶モニターに表示されます。
4. しばらくすると液晶モニターにガイドバーが表示されます。
シャッターボタンを押さずに、ガイドバーの アイコンが緑色の四角に重なるようにカメラを右へ(「→右方向」を選択した場合)移動します。
5. アイコンが緑色の四角に重なると、自動的にシャッターが切れ撮影されます。OKボタンを押すと2つのアングルでのパノラマ写真の撮影終了です。
引き続きパノラマ写真を続ける場合は、OKボタンを押さずに、 アイコンをガイドバーの緑色の四角に重なるようにカメラを右へ移動します。
6. アイコンが緑色の四角に重なると、自動的にシャッターが切れ、3つのアングルでのパノラマ写真の撮影終了です。
撮影が終了すると自動的に保存され、液晶モニターに画像が表示されます。





静止画・動画の撮影

📷 連写モード

連続撮影の設定をします。

1. 「📷 連続撮影」モードに設定します。P.26「静止画撮影モードの切替」をご覧ください。

2. 上ボタンを押します。

3. 左または右ボタンを押して、下記のいずれかを選択します。



連写

: シャッターボタンを押している間、連続撮影を行います。
約1秒間隔で撮影します。



迅速な記録

: シャッターボタンを1回押すと、VGAサイズで約3秒間に
30枚撮影します。



AEB (オートブラケットリング)

: シャッターボタンを1回押すと、自動的に露出をずらして、
静止画を3枚撮影します。

2.



※ 設定により表示されるアイコンは
異なります。



静止画・動画の撮影

機能メニュー

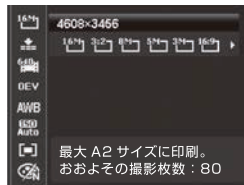
カメラの様々な機能を設定します。

1. カメラの電源をオンにします。
2. 機能ボタンを押し、機能メニューを表示します。
3. 上または下ボタンを押して項目を選択し、左または右ボタンを押して選択し、OKボタンを押して決定します。



機能ボタン

2.



※設定により表示されるアイコンは異なります。



- ◆ 機能メニューは、設定中のモードにより、利用可能なメニューが異なります。液晶モニターでは利用可能なメニューが表示されます。
- ◆ 選択されている項目は黄色の文字で表示されます。



撮影する静止画サイズを設定します。

1. 上または下ボタンを押して、「静止画サイズ 」を選択します。
2. 左または右ボタンを押して、下記のいずれかを選択し、OKボタンを押して決定します。

16M 16M:約1600万画素

3:2 3:2 :約1400万画素(縦横比3:2)

8M : 約800万画素

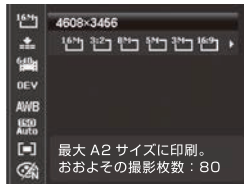
 5M : 約500万画素

3M 3M :約300万画素

16:9 16:9:約200万画素(縦横比16:9)

☐ VGA : 約30万画素

2.



※設定により表示されるアイコンは異なります。



- ◆サイズが大きいきほど高画質ですが、データ容量も大きくなり、同じ容量のSDメモリーカードで撮影できる枚数が少なくなります。
- ◆VGAサイズは、e-mail等の添付に適しています。



静止画・動画の撮影

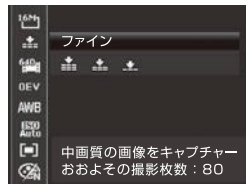
画質（初期設定：ファイン）

撮影する静止画の画質（圧縮率）を設定します。

1. 上または下ボタンを押して、「画質」を選択します。
2. 左または右ボタンを押して、下記のいずれかを選択し、OKボタンを押して決定します。

- スーパーファイン：超高画質
- ファイン：高画質
- 標準：標準画質

2.



※設定により表示されるアイコンは異なります。



◆ 高画質なほど鮮明ですがデータ容量も大きくなり、同じ容量のSDメモリーカードで撮影できる枚数が少なくなります。



静止画・動画の撮影

📺 動画サイズ (初期設定:640×480)

撮影する動画サイズを設定します。

1. 上または下ボタンを押して、「動画サイズ **640**」を選択します。
2. 左または右ボタンを押して、下記のいずれかを選択し、OKボタンを押して決定します。

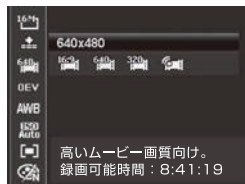
16:9 : HDサイズ (30fps)

640 : VGAサイズ (30fps)

320 : QVGAサイズ (30fps)

160 : VGAサイズ (30fps)

2.



※設定により表示されるアイコンは異なります。



◆ HDサイズも標準画質となります。

◆ Web(インターネット)モードについて

ファイルをインターネットサイトに容易にアップロードできるように設定されています。

- ・インターネットモードでは、動画サイズが640×480に設定されます。
- ・別フォルダーに保存されます。
- ・インターネットモードの撮影可能時間は、最大約10分です。



静止画・動画の撮影

☞ 露出補正(初期設定:OEV)

手動で露出値を変更する場合に使用します。被写体の撮影結果が暗く濡れる場合は+(明るく)補正し、明るすぎる場合には-(暗く)補正します。露出値は、-2.0~+2.0(0.3EVステップ)の間で調整することができます。

1. 上または下ボタンを押して、「露出補正 **OEV**」を選択します。
2. 左または右ボタンを押して、補正値を選択し、OKボタンを押して決定します。

2.



※設定により表示されるアイコンは異なります。



◆記録モードを **P** モード等に設定してください。



静止画・動画の撮影

📷 ホワイトバランス（初期設定：自動）

自動での色調が思わしくない場合、様々な被写体周辺の状況に応じたホワイトバランスを調整し、肉眼の色調に近づけます。

1. 上または下ボタンを押して、「ホワイトバランス **AWB**」を選択します。
2. 左または右ボタンを押して、下記のいずれかを選択し、OKボタンを押して決定します。

- AWB** オート : 自動で調整します。
- ☀️ 晴天 : 屋外の晴天時での撮影に適しています。
- ☁️ 曇り : 屋外の曇天時、日陰での撮影に適しています。
- 💡 白熱灯 : 室内の白熱灯下での撮影に適しています。
- 💡_H 蛍光灯H : 室内の蛍光灯下(青色系)での撮影に適しています。
- 💡_L 蛍光灯L : 室内の蛍光灯下(赤色系)での撮影に適しています。
- 🔧 カスタム : この機能は使用できません。あらかじめご了承ください。

2.



※設定により表示されるアイコンは異なります。



◆記録モードを**P**モード等に設定してください。



静止画・動画の撮影

ISO感度 (初期設定: オート)

撮影時の感度を設定します。感度を上げると暗い場所での撮影も可能になりますが、ノイズが増え、画質が低下します。感度を下げると、ノイズが少なくなめらかな画質を得ることができますが、多くの光量が必要となります。

1. 上または下ボタンを押して、「ISO感度」を選択します。
2. 左または右ボタンを押して、下記のいずれかを選択し、OKボタンを押して決定します。

オート : 感度を自動で調整します。

ISO 100 : 屋外の晴天時での撮影に適しています。

ISO 200 : 屋外の曇天時、または明るい室内での撮影に適しています。

ISO 400 : 屋外の曇天時、または光量が少ない室内でフラッシュを発光して撮影する場合に適しています。

ISO 800 : 光量が少ない状況下で、フラッシュを発光せずに撮影する場合に適しています。

ISO 1600 : 光量が少ない状況下で、フラッシュを発光せずに撮影する場合に適しています。

ISO 3200 : 極端に光量が少ない状況下で、フラッシュを発光せずに撮影する場合に適しています。

ISO 6400 : 極端に光量が少ない状況下で、フラッシュを発光せずに撮影する場合に適しています。

2.



※設定により表示されるアイコンは異なります。



◆記録モードをPモード等に設定してください。

◆上記説明はあくまでも目安です。撮影結果を確認しながら、撮影状況に合わせて設定してください。



静止画・動画の撮影

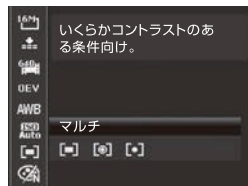
測光方式（初期設定：マルチ）

露出の計測方法を決定します。

1. 上または下ボタンを押して、「測光方式 []」を選択します。
2. 左または右ボタンを押して、下記のいずれかを選択し、OKボタンを押します。

- [] マルチ : 全体的に測光します。
- [] 中央部重点 : 中央部分周辺を重点的に測光します。
- [] スポット : 被写体の中央部を部分的に測光します。

2.



※設定により表示されるアイコンは異なります。



◆記録モードを **P** モード等に設定してください。



静止画・動画の撮影

色効果（初期設定：標準）

色効果を加えることで、印象の異なる写真にすることができます。

1. 上または下ボタンを押して、「色効果」を選択します。
2. 左または右ボタンを押して、下記のいずれかを選択し、OKボタンを押します。

- 標準 : 効果を加えません。
- STYLISH : トイカメラ風にします。
- 鮮明 : 色味をはっきりと強調します。
- セピア : セピア画像にします。
- カラーアクセント(赤): 赤色系を残して白黒画像にします。
- カラーアクセント(緑): 緑色系を残して白黒画像にします。
- カラーアクセント(青): 青色系を残して白黒画像にします。
- モノクロ : 白黒画像にします。
- 赤 : 赤色のフィルターのような効果を加えます。
- 緑 : 緑色のフィルターのような効果を加えます。
- 青 : 青色のフィルターのような効果を加えます。

2.



※設定により表示されるアイコンは異なります。



◆記録モードをPモード等に設定してください。

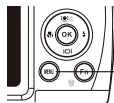


静止画・動画の撮影

▶ 静止画撮影メニュー

静止画モードの基本設定します。

1. カメラの電源をオンにします。
2. メニューボタンを押し、「静止画撮影 」メニューを表示します。
3. 上または下ボタンを押して項目を選択し、
右ボタンを押すか、OKボタンを押してサブメニューを表示します。
4. 上または下ボタンを押して項目を選択し、OKボタンを押して決定します。
5. メニューボタンを押して、撮影モードに戻ります。



メニューボタン



- ◆ 静止画撮影メニューは、設定中のモード(シーン)メニューにより、利用可能なメニューが異なります。
液晶モニターでは利用可能なメニューが白文字で表示されます。
- ◆ 選択されている項目は黄色の枠付きで表示されます。



静止画・動画の撮影

📷 セルフタイマー(ドライブモード)(初期設定:オフ)

セルフタイマーの設定および連写撮影の設定をします。

1. 上または下ボタンを押して「ドライブモード **OFF**」を選択し、OKボタンまたは右ボタンを押してサブメニューに入ります。
2. 上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押して決定します。

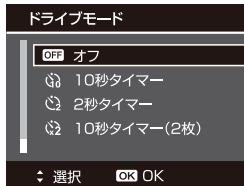
- OFF** オフ : セルフタイマーを設定しません。
- 🕒 10秒タイマー : シャッターボタンを押してから、約10秒後に撮影します。
- 🕒 2秒タイマー : シャッターボタンを押してから、約2秒後に撮影します。
- 🕒 10秒タイマー(2枚) : シャッターボタンを押してから約10秒後に撮影し、更に2秒後に再度撮影します。

3. メニューボタンを押すと、撮影画面に戻ります。

1.



2.



- ◆セルフタイマーLEDがゆっくり点滅し、約2秒前から点滅がはやくなります。
- ◆セルフタイマーを使用する場合は、カメラを三脚等で固定してください。
- ◆10秒タイマー(2枚)を選択時、2回目の撮影ではフラッシュの光量が不足する場合があります。
- ◆電源をオフにすると設定はオフに戻ります。



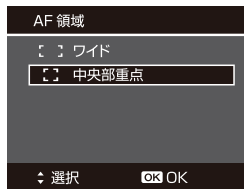
静止画・動画の撮影

AF領域（初期設定：ワイド）

オートフォーカスの領域を設定します。

1. 「AF領域」を選択しサブメニューを表示します。
2. 上または下ボタンを押して、下記のいずれかを選択し、OKボタンを押して決定します。
 【 】ワイド：広いフレームの範囲内でピントを合わせます。
 【 】中央部重点：中央部を中心にピントを合わせます。
3. メニューボタンを押して、撮影モードに戻ります。

2.



AFランプ（初期設定：オート）

AFランプの「オート(発光)」および「オフ」を切替えます。

「オート」に設定すると、必要に応じて赤色のAFランプが自動的に発光し、暗い状況下においてのピント合わせの精度を高めます。

1. 「AFランプ AF」を選択しサブメニューを表示します。
2. 上または下ボタンを押して、下記のいずれかを選択し、OKボタンを押して決定します。
 AF オート：必要に応じてAFランプが自動的に発光します。
 OFF オフ：AFランプは発光しません。
3. メニューボタンを押して、撮影モードに戻ります。

2.





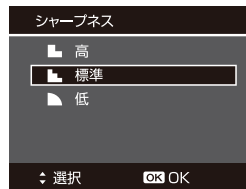
静止画・動画の撮影

📷 シャープネス（初期設定：標準）

撮影する静止画の鮮鋭度を設定します。

1. 「シャープネス 」を選択しサブメニューを表示します。
2. 上または下ボタンを押して、下記のいずれかを選択し、OKボタンを押して決定します。
 -  高 : シャープな静止画に仕上がります。
 -  標準 : 効果を加えません。
 -  低 : ソフトな静止画に仕上がります。
3. メニューボタンを押して、撮影モードに戻ります。

2.



📷 彩度（初期設定：標準）

撮影する静止画の彩度（色の鮮やかさ）を設定します。

1. 「彩度 」を選択しサブメニューを表示します。
2. 上または下ボタンを押して、下記のいずれかを選択し、OKボタンを押して決定します。
 -  + 高 : 彩度を高めた静止画に仕上がります。
 -  ± 標準 : 効果を加えません。
 -  - 低 : 彩度を抑えた静止画に仕上がります。
3. メニューボタンを押して、撮影モードに戻ります。

2.





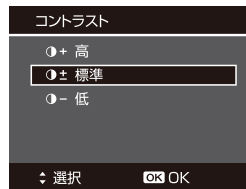
静止画・動画の撮影

☞ コントラスト（初期設定：標準）

撮影する静止画のコントラストを設定します。

1. 「コントラスト **⦿ ±**」を選択しサブメニューを表示します。
2. 上または下ボタンを押して、下記のいずれかを選択し、OKボタンを押して決定します。
 - ⦿ + 高** : コントラストを高めた静止画に仕上がります。
 - ⦿ ± 標準** : 効果を加えません。
 - ⦿ - 低** : コントラストを抑えた静止画に仕上がります。
3. メニューボタンを押して、撮影モードに戻ります。

2.





静止画・動画の撮影

📷 デジタルズーム（初期設定：インテレクトズーム）

デジタルズーム機能の設定を行います。

1. 「デジタルズーム 」を選択しサブメニューを表示します。
2. 上または下ボタンを押して、下記のいずれかを選択し、OKボタンを押して決定します。

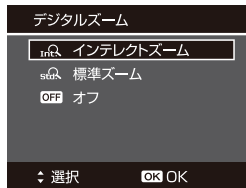
 インテレクトズーム：高解度を維持してズームイン(拡大)します。

 標準ズーム：最大5倍までズームイン(拡大)します。

 オフ：デジタルズームを使用しません。

3. メニューボタンを押して、撮影モードに戻ります。

2.



- ◆デジタルズームのご使用方は、P.25「ズーム撮影」をご覧ください。
- ◆デジタルズームは、スマイルキャプチャおよび動画モード・音声モードでは使用できません。
- ◆インテレクトズームの最大倍率は、静止画サイズと画質によって異なります。



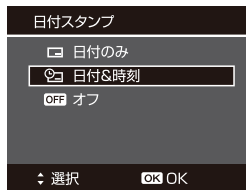
静止画・動画の撮影

日付プリント(日付スタンプ) (初期設定：オフ)

撮影する静止画に日付をプリントすることができます。

1. 「日付スタンプ」を選択しサブメニューを表示します。
2. 上または下ボタンを押して、下記のいずれかを選択し、OKボタンを押して決定します。
 - ☐ 日付のみ : 日付のみプリントします。
 - ☒ 日付&時刻 : 日付と時刻をプリントします。
 - ☐ オフ : 日付プリントをしません。
3. メニューボタンを押して、撮影モードに戻ります。

2.



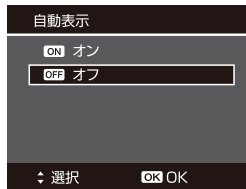
- ◆日付スタンプ設定時は、AEBおよび連写が多少遅くなる可能性があります。
- ◆日付をプリントした静止画を回転した場合、日付も回転されます。

プレビュー(自動表示) (初期設定：オン)

静止画を撮影した直後、撮影した静止画を約1秒間表示します。

1. 「自動表示」を選択しサブメニューを表示します。
2. 上または下ボタンを押して、下記のいずれかを選択し、OKボタンを押して決定します。
 - ☒ オン : プレビュー機能を有効にします。
 - ☐ オフ : プレビュー機能を無効にします。
3. メニューボタンを押して、撮影モードに戻ります。

2.





静止画・動画の撮影

手ぶれ軽減機能(初期設定:オン)

撮影時の手ブレを最小限に軽減します。

1. 「手ぶれ軽減」を選択し、サブメニューに入ります。
2. 上または下ボタンを押して、下記のいずれかを選択し、OKボタンを押して決定します。

ON オン：手ぶれ軽減機能をオンにします。

OFF オフ：手ぶれ軽減機能をオフにします。

3. **ON** オンを選択し、手ぶれ軽減機能をオンにします。
液晶モニターに手ぶれ軽減アイコン(📷)が表示されていることを確認します。

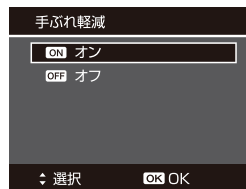


◆ 光学式になります。

1.



2.



3.





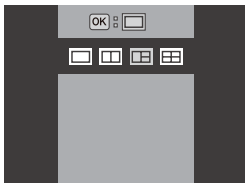
静止画・動画の撮影

📺 オークションモード

複数のカット(4カット以内)を一枚の画像に仕上げます。

1. モードダイヤルで **SCN** (シーンモード) を選択します。P.26「静止画撮影モードの切替」をご覧ください。
2. 「オークションモード 」を選択します。P.27「静止画シーンの切替」をご覧ください。
3. 左または右ボタンを押して配置を選択し、OKボタンを押します。
4. シャッターボタンを押して撮影します。
 続ける : OKボタンを押します。
 キャンセル: メニューボタンを押して撮り直します。
5. 2枚目、3枚目を同様に撮影します。
6. 全体を確認して
 保存 : OKボタンを押します。
 キャンセル: メニューボタンを押します。

2.



3.



完成





静止画・動画の撮影

☞ 笑顔認識機能

笑顔を認識すると、自動的にシャッターが下ります。

1. モードダイヤルで **SCN** (シーンモード) を選択します。P.26「静止画撮影モードの切替」をご覧ください。
2. 「😊 スマイルキャプチャ」を選択します。P.27「静止画シーンの切替」をご覧ください。
3. カメラを構え、液晶モニタで被写体を捉えます。
4. 顔を認識すると白いフォーカスフレームが表示されます。
5. 撮影準備が整うとフォーカスフレームが緑色に変わります。
6. 笑顔を検出すると自動的にシャッターが下ります。

4.



※設定により表示されるアイコンは異なります。



- ◆人物が二人以上の場合、カメラに最も近い人物の笑顔を検出します。この場合、検出に多少時間がかかる場合があります。
- ◆笑顔には個人差がある為、すべての状況で動作を保証するものではありません。



静止画・動画の撮影

まばたき検出機能

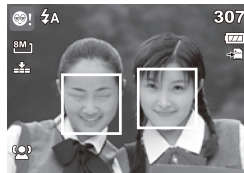
撮影時に人物がまばたきをした際、カメラがまばたきを検出し、ファイルの保存または削除を選択することができます。

1. モードダイヤルで **SCN** (シーンモード) を選択します。P.26「静止画撮影モードの切替」をご覧ください。
2. 「 まばたき検出」に設定します。P.27「静止画シーンの切替」をご覧ください。
3. シャッターボタンを半押しして撮影準備が整うとフォーカスフレームが緑色に変わります。
4. シャッターボタンを押して撮影します。
5. カメラがまばたきを検出した場合は、「保存」または「キャンセル」の選択画面が表示されます。
6. 上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、SETボタンを押して決定します。

保存 : カメラに画像を保存します。

キャンセル : 画像を保存しません。

3.



4.



※設定により表示されるアイコンは異なります。



◆すべての状況で動作を保証するものではありません。



静止画・動画の撮影

▶ 動画の撮影

動画を撮影します。

1. カメラの電源をオンにします。
2. 液晶モニターで被写体を捉え、構図を決めます
3. 動画録画ボタンを押して、撮影を開始します。必要に応じてズームしてください。
4. 撮影中、上ボタンを押すと撮影を一時停止します。
再度上ボタンを押すと、撮影を再開します。
5. 再度録画ボタンを押すと撮影を終了し、動画画面に戻ります。

動画撮影画面



※設定により表示されるアイコンは異なります。



- ◆ 1 ファイルの最大容量は3.9GBです。
- ◆ メモリー残量がなくなると、カメラは自動的に撮影を終了します。
- ◆ デジタルズームは、使用できません。
- ◆ ズーム中は、音声は記録されません。
- ◆ 動画撮影中および一時停止中は、自動電源オフ機能(省電力)は作動しません。
- ◆ 屋内での撮影時、蛍光灯・LEDランプが直接画角内に入るとモニターがチラ付く場合があります。
多少軽減されますがチラ付きは撮影されますので、あらかじめご了承ください。

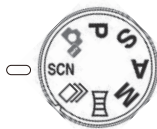


静止画・動画の撮影

音声の録音

テープレコーダーのように、音声を録音することができます。

1. カメラの電源をオンにします。
2. モードダイヤルを「シーンモード **SCN**」に合わせます。
3. メニューボタンを押し、OKボタンを押します。
4. 左または右ボタンを押して、「音声メモ 」を選択し、OKボタンを押して決定します。
5. シャッターボタンを押して、録音を開始します。
6. 再度、シャッターボタンを押すと、録音を終了します。

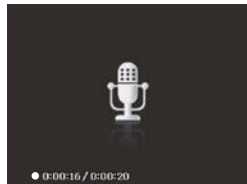


モードダイヤル

4.



音声メモ画面（録音中）



※設定により表示されるアイコンは異なります。



◆メモリー残量が無くなると、カメラはデータを保存してから自動的に終了します。



再生モード

▶ 静止画ファイルの再生

静止画ファイルを液晶モニターで再生します。

1. カメラの電源をオンにします。
2. 再生ボタンを押します。
3. 左または右ボタンを押して、再生したい静止画ファイルを選択します。



1.



▶▶ 再生ズーム

静止画ファイルの表示中、画像を拡大表示することができます。

1. 静止画ファイルを表示します。
2. ズームレバーをT側(ズームイン)に回すと拡大表示。
W側(ズームアウト)に回すと縮小表示します。
3. 上/下または左/右ボタンを押して、拡大表示範囲を移動します。
4. メニューボタンを押すと、1倍表示に戻ります。

2.



※設定により表示されるアイコンは異なります。



- ◆ 静止画ファイルのみの機能です。
- ◆ 最大12倍まで拡大表示できます。



再生モード

▶ 動画ファイルの再生

動画ファイルを液晶モニターで再生します。

1. カメラの電源をオンにします。
2. 再生ボタンを押します。
3. 左または右ボタンを押して、再生したい動画ファイルを選択します。
4. OKボタンを押して、動画ファイルを再生します。
5. 再生中に上ボタンを押すと、再生を一時停止します。
再度、上ボタンを押すと、再生を再開します。
また、左ボタンを押すと早戻し、右ボタンを押すと早送りを行います。
6. 再生中、ズームレバーをズームイン(T)・ズームアウト(W)を回すと、音量調節します。
7. 下ボタンを押して、再生を終了します。

3.



4.



※設定により表示されるアイコンは異なります。



◆一時停止中・早送り／早戻し中は、音量を調節することができません。



再生モード

🔍 動画シーンを静止画として保存

撮影した動画ファイルの一部を静止画として保存することができます。

1. 動画ファイルを再生します。P.63「動画ファイルの再生」をご覧ください。
2. 動画を再生し、静止画として保存したいシーンで上ボタンを押し、一時停止します。
3. シャッターボタンを押すと、静止画として保存されます。
4. 上ボタンを押すと、再生を再開します。

2.



※設定により表示されるアイコンは異なります。



- ◆メモリー残量が無い場合またはフォルダが作成できない場合、静止画保存はできません。
その場合、液晶モニターに📷アイコンが表示されません。
- ◆作成される静止画サイズは、動画サイズと同じになります。



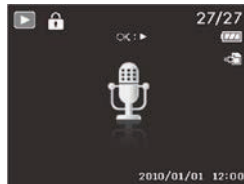
再生モード

▶ 音声ファイルの再生

音声ファイルを再生します。

1. カメラの電源をオンにします。
2. 再生ボタンを押します。
3. 左または右ボタンを押して、再生したい音声ファイルを選択します。
4. OKボタンを押して、音声ファイルを再生します。
5. 再生中に上ボタンを押すと、再生を一時停止することができます。
再度、上ボタンを押すと、再生を再開します。
6. 再生中、ズームレバーをズームイン(T)・ズームアウト(W)に回すと、音量を調節することができます。
7. 下ボタンを押して、再生を終了します。

3.



※設定により表示されるアイコンは異なります。



◆一時停止中は、音量を調節することができません。



再生モード

▶ 音声メモ(ボイスメモ)の再生

静止画に付加録音された音声メモを再生します。

1. カメラの電源をオンにします。
2. 再生ボタンを押します。
3. 左または右ボタンを押して、音声メモが付加された静止画ファイルを選択します。
4. OKボタンを押して、音声メモを再生します。
5. 再生中に上ボタンを押すと、再生を一時停止することができます。
再度、上ボタンを押すと、再生を再開します。
6. 再生中、ズームレバーのズームイン(T)・ズームアウト(W)に回すと、音量を調節することができます。
7. 下ボタンを押して、再生を終了します。

4.



※設定により表示されるアイコンは異なります。



- ◆一時停止中は、音量を調節することができません。
- ◆音声メモの付加方法は、P.77「音声メモ(ボイスメモ)の付加録音」をご覧ください。



再生モード

クイック消去

液晶モニターに表示中のファイルを消去します。

1. 消去するファイルを表示します。
2. 機能ボタンを押します。
3. 上または下ボタンを押して、下記のいずれかを選択し、OKボタンを押します。

消去 : 液晶モニターに表示中のファイルを消去します。

キャンセル: 消去しません。

3.



※設定により表示されるアイコンは異なります。



◆消去したファイルは元に戻せませんのでご注意ください。

◆再生メニューからファイルを消去する方法もあります。P.70「画像消去」をご覧ください。

◆選択されている項目は、黄色の枠付で表示されます。

回転

液晶モニターに表示中のファイルを回転します。

1. 回転させたいファイルを表示します。
2. 上ボタンを押します。
ボタンを押すごとに、右に90度ずつ回転します。

1.



2.



※設定により表示されるアイコンは異なります。



◆静止画のみの機能です。



再生モード

サムネイル表示

9分割のサムネイル表示に切替えます。
ファイルを素早く探すことができ、大変便利な機能です。

1. 再生ボタンを押して再生モードにします。
2. ズームレバーをW側(ズームアウト)に回すと、9分割サムネイル表示に切り替わります。
3. 上/下または左/右ボタンを押し、ファイルの選択(黄枠)を移動します。
4. ファイルを選択後、OKボタンを押すと一画面表示されます。

2.



カレンダーモード

撮影したファイルをカレンダーの中から素早く探すことができます。

1. 再生ボタンを押して、再生モードにします。
2. ズームレバーをW側(ズームアウト)に2度回すと、カレンダー表示に切り替わります。
3. 上/下または左/右ボタンを押して日付の選択(黄枠)を移動し、OKボタンを押します。
4. 選択した日付のファイルを左または右ボタンを押して選択します。

2.



※設定により表示されるアイコンは異なります。



- ◆ カレンダー上にそれぞれ表示されたファイルは、当日最初に記録されたファイルになります。
- ◆ ズームレバーをT側(ズームイン)に回すと、9分割のサムネイル表示に戻ります。



再生モード

再生メニュー

再生モードの様々な設定を行います。

1. カメラの電源をオンにします。
2. 再生ボタンを押します。
3. メニューボタンを押して、再生メニューを表示します。
4. 上または下ボタンを押して、項目を選択します。

3.



◆選択されている項目は、黄色枠で表示されます。



再生モード

画像消去

不要なファイルを消去します。

1. 再生メニューを表示します。P.69「再生メニュー」をご覧ください。
2. 上または下ボタンを押して「画像消去」を選択し、OKボタンまたは右ボタンを押してサブメニューに入ります。
3. 上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押します。

- 一枚 : 選択したファイルを消去します。
- 音声のみ : 表示中ファイルの音声メモを削除します。
- マルチ : 同時に複数のファイルを消去します。
- 全て : 全てのファイルを消去します。

〈「一枚」を選択した場合〉

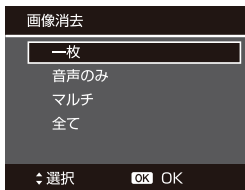
- A-1. 左または右ボタンを押して、消去するファイルを選択します。
- A-2. 上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押します。
 - 消去 : 表示中のファイルを消去します。
 - キャンセル : 表示中のファイルを消去しません。

●次ページへ続く

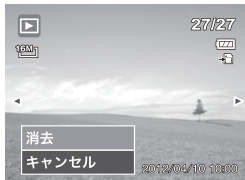
2.



3.



A-2.





再生モード

〈「マルチ」を選択した場合〉

B-1. 上／下または左／右ボタンを押して消去するファイルを選択(黄色の枠を移動)し、OKボタンを押します。消去するファイルが複数の場合は、この作業を繰り返します。選択したファイルには、ゴミ箱マークが付きます。

B-2. メニューボタンを押します。

B-3. 上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押して決定します。

はい : 選択されたファイルを消去します。

キャンセル: 前の画面に戻ります。

〈「全て」を選択した場合〉

C-1. 上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押して決定します。

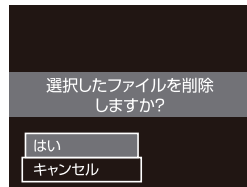
はい : すべてのファイルを消去します。

キャンセル: 前の画面に戻ります。

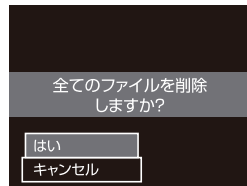
B-1.



B-3.



C-1.



- ◆消去したファイルは、元に戻りませんのでご注意ください。
 - ◆保護されたファイルは、消去されません。
 - ◆クイック消去を使用し、ファイルを素早く消去する方法もあります。
P.67「クイック消去」をご覧ください。
 - ◆選択されている項目は、黄色枠で表示されます。
- ※設定により表示されるアイコンは異なります。



再生モード

2. スライドショー

メモリーに記録されている全ての静止画を、一定の間隔で表示します。

1. 再生メニューを表示します。P.69「再生メニュー」をご覧ください。
2. 上または下ボタンを押して「スライドショー」を選択し、OKボタンまたは右ボタンを押してサブメニューに入ります。
3. 上または下ボタンを押して下記の項目を左または右ボタンを押して設定します。

間隔(初期設定:3秒) : スライドショーの表示間隔を設定します。
 「●_s1秒」「●_s3秒」「●_s5秒」「●_s10秒」
 のいずれかを選択します。

遷移 : スライドショーの表示切替を設定します。

繰り返し(初期設定:連続) : スライドショーの繰り返しを設定します。
 「↺ 繰り返し表示」「↻ 一巡すると終了」の
 いずれかを選択します。

4. 上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押します。

スタート : スライドショーを開始します。

キャンセル : スライドショーを開始しません。

5. 終了する場合は、OKボタンを押し、上または下ボタンを押して「終了」を選択してOKボタンを押します。

続ける : スライドショーを続けます。

終了 : スライドショーを終了します。

2.



3.



5.



◆動画は表示しません。



再生モード

保護(プロテクト)

撮影したファイルの誤消去を防ぐために保護します。

1. 再生メニューを表示します。P.69「再生メニュー」をご覧ください。
2. 上または下ボタンを押して「プロテクト」を選択し、OKボタンまたは右ボタンを押してサブメニューに入ります。
3. 上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押します。

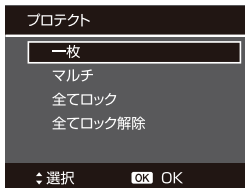
- 一枚 : 選択したファイルを保護します。
- マルチ : 同時に複数のファイルを保護します。
- 全てロック : 全てのファイルを保護します。
- 全てロック解除 : 全てのファイルを保護解除します。

●次ページへ続く

2.



3.





再生モード

「一枚」を選択した場合

A-1. 左または右ボタンを押して、保護するファイルを選択します。

A-2. 上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押します。

ロック：表示中のファイルを保護します。

終了：前の画面に戻ります。

A-3. 保護したファイルの保護（ロック）を解除する場合は、

解除するファイルを左または右ボタンを押して選択します。

上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押します。

ロック解除：保護設定を解除します。

終了：保護を解除しません。

「マルチ」を選択した場合

B-1. 上／下または左／右ボタンを押して保護するファイルを選択（黄色の枠）し、OKボタンを押します。

保護するファイルが複数の場合は、この作業を繰り返します。

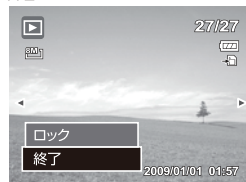
B-2. メニューボタンを押します。

B-3. 上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押します。

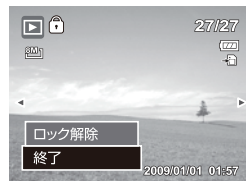
はい：選択されたファイルを保護します。

キャンセル：前の画面に戻ります。

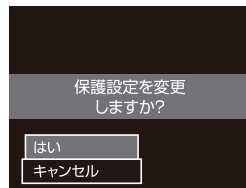
A-2.



A-3.



B-3.



B-1.





再生モード

〈「全てロック」を選択した場合〉

C-1. 上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押します。

はい : すべてのファイルを保護します。

キャンセル : 前の画面に戻ります。

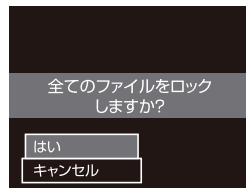
〈「全てロック解除」を選択した場合〉

D-1. 上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押します。

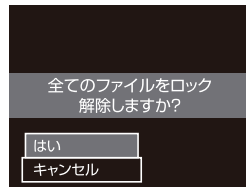
はい : すべてのファイルを保護解除します。

キャンセル : 前の画面に戻ります。

C-1.



D-1.



◆保護されたファイルには、ロックアイコン  が表示されます。

※設定により表示されるアイコンは異なります。



再生モード

赤目補正

撮影した静止画の赤目を補正することができます。

1. 再生メニューを表示します。P.69「再生メニュー」をご覧ください。
2. 上または下ボタンを押して「赤目補正」を選択し、OKボタンまたは右ボタンを押してサブメニューに入ります。
3. 上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押します。
スタート : 赤目を補正します。
キャンセル : 赤目を補正しません。

〈「スタート」を選択した場合〉

4. 下記のいずれかを選択し、OKボタンを押して決定します。
上書き : 元のファイルに上書きして保存します。
名前付け保存 : 新しいファイル番号で保存します。
キャンセル : 保存しません。

2.



3.



4.





再生モード

🔊 音声メモ(ボイスメモ)の付加録音

撮影した静止画に音声メモを加えることができます。

1. カメラの電源をオンにします。
2. 再生ボタンを押します。
3. 左ボタンまたは右ボタンを押して、静止画ファイルを選択します。
4. メニューボタンを押して「ボイスメモ」を選択し、OKボタンを押します。
5. 上または下ボタンを押して、下記のいずれかを選択し、OKボタンを押します。

スタート : 音声メモの付加録音を開始します。

キャンセル: 音声メモを付加しません。

6. 録音が始まります。
7. 再度OKボタンを押すと、音声メモの追加を終了します。

4.



5.



◆ 音声メモの付加された静止画には 🎤 アイコンが表示されます。

◆ 音声メモは、最大30秒間録音されます。

再生モード

色効果 (カラーコード) (初期設定:標準)

撮影した静止画を編集(色効果等を加える)します。

1. 再生メニューを表示します。P.69「再生メニュー」をご覧ください。
2. 上または下ボタンを押して「カラーコード」を選択し、OKボタンまたは右ボタンを押してサブメニューに入ります。
3. 左または右ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押して決定。

-  標準 : 効果を加えません。
-  セピア : セピア画像にします。
-  モノクロ : 白黒画像にします。
-  ネガ : ネガフィルムのような効果を加えます。
-  モザイク : モザイクのような効果を加えます。
-  赤 : 赤色のフィルターを装着したような効果を加えます。
-  緑 : 緑色のフィルターを装着したような効果を加えます。
-  青 : 青色のフィルターを装着したような効果を加えます。

2.



3.



◆編集された写真は別ファイルとして保存されます。

再生モード

トリミング

静止画ファイルをトリミングすることができます。

1. 再生メニューを表示します。P.69「再生メニュー」をご覧ください。
2. 上または下ボタンを押して「トリミング」を選択し、OKボタンまたは右ボタンを押してサブメニューに入ります。
3. ズームスイッチのズームイン(T)またはズームアウト(W)を回して拡大率を決定し、左／右または上／下ボタンを押して範囲を移動し、OKボタンを押します。
4. 上または下ボタンを押して下記のいずれかを設定し、OKボタンを押して決定します。

上書き保存 : 元のファイルに上書きして保存します。

名前付け保存 : 新しいファイル番号で保存します。

キャンセル : 保存しません。



◆ 5M、3:2、16:9、VGAサイズのファイルは拡大表示できますが、トリミングして保存できません。

2.



3.



4.



※設定により表示されるアイコンは異なります。



再生モード

📺 サイズ調整

撮影した静止画のサイズを変更することができます。

1. 再生メニューを表示します。P.69「再生メニュー」をご覧ください。
2. 上または下ボタンを押して「サイズ調整」を選択し、OKボタンまたは右ボタンを押してサブメニューに入ります。
3. 上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押します。
 8M : 8Mに変更します。
 5M : 5Mに変更します。
 3M : 3Mに変更します。
 VGA : VGA(約30M)に変更します。
4. 上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押して決定します。
 上書き保存 : 元のファイルに上書きして保存します。
 名前付け保存 : 新しいファイル番号で保存します。
 キャンセル : 保存しません。



- ◆ 3:2、16:9、VGAサイズのファイルはサイズを調整できません。
- ◆ VGAサイズは、e-mailの添付に適したサイズになります。
- ◆ サイズを小さくします。大きくすることはできません。

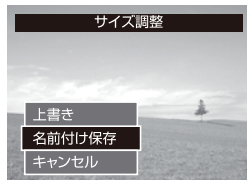
2.



3.



4.





再生モード

❏ 起動画面の設定（起動画像）（初期設定:システム）

起動画面に表示する静止画を設定することができます。

1. 再生メニューを表示します。P.69「再生メニュー」をご覧ください。
2. 上または下ボタンを押して「起動画像」を選択し、OKボタンまたは右ボタンを押してサブメニューに入ります。
3. 上または下ボタンを押して下記のいずれかを設定し、OKボタンを押して決定します。

システム：工場出荷時の起動画面に設定します。

マイ画像：表示中のファイルを起動画面に設定します。

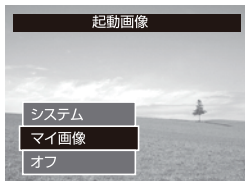
左または右ボタンを押して、ファイルを選択します。

オフ：起動画面を設定しません。

2.



4.



◆ 起動画面に設定中のファイルを消去した場合でも、表示される起動画面は変更されません。



再生モード

▶▶ DPOF

〈DPOFとは〉

DPOFは、DPOFをサポートするプリンターを使い、SDメモ리카ードに保存されている静止画を直接プリントアウトしたり、写真店にプリントサービスを依頼する場合に手間を省くことができます。

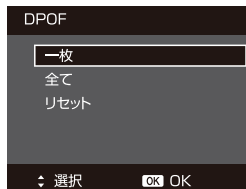
1. 再生メニューを表示します。P.69「再生メニュー」をご覧ください。
2. 上または下ボタンを押して「DPOF」を選択し、OKボタンまたは右ボタンを押してサブメニューに入ります。
3. 上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押します。
 - 一枚 : 選択したファイルをDPOF設定します。
 - 全て : 全てのファイルをDPOF設定します。
 - リセット : DPOF設定を解除します。

●次ページへ続く

2.



3.





再生モード

〈「一枚」を選択した場合〉

- A-1. 左または右ボタンを押して、DPOF設定を行うファイルを選択します。
- A-2. 上または下ボタンを押して、プリント枚数を選択します。1～99枚まで指定することができます。指定を取り消す場合は、枚数を0にします。
- A-3. 機能ボタンを押して、プリントする写真への日付印字を選択します。
ボタンを押すごとに「日付スタンプオン」と「日付スタンプオフ」が切り替わります。
「日付スタンプオン」を選択すると日付印字設定が行われ、
「日付スタンプオフ」を選択すると日付印字設定は行われません。
OKボタンを押して決定します。☐アイコンが表示されます。
- A-4. 他のファイルもプリント指定する場合は、A-1～A-3の操作を繰り返します。

A-3.



- ◆ 撮影時に「日付プリント」がオンに設定されている場合、
日付スタンプをオフには設定できません。

●次ページへ続く



再生モード

〈「全て」を選択した場合〉

- B-1. 上または下ボタンを押して、枚数を選択します。1～99枚まで指定することができます。指定を取り消す場合は、枚数を0にします。
- B-2. 機能ボタンを押して、プリントする写真への日付印字を選択します。ボタンを押すごとに「日付スタンプオン」と「日付スタンプオフ」が切り替わります。「日付スタンプオン」を選択すると日付印字設定が行われ、「日付スタンプオフ」を選択すると日付印字設定は行われません。
- B-3. OKボタンを押して決定します。🖨️ アイコンが表示されます。

〈「リセット」を選択した場合〉

- C-1. 上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押して決定します。

はい : DPOF設定を解除します。
キャンセル: DPOF設定を解除しません。
 メニュー画面に戻ります。

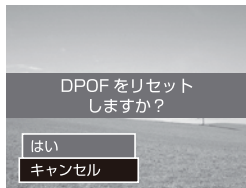
3.



A-3.



C-1.





再生モード

放射状のぼかし

撮影した画像に、放射状のぼかしのような効果を加えます。

1. 再生メニューを表示します。P.69「再生メニュー」をご覧ください。
2. 上または下ボタンを押して「放射状のぼかし」を選択し、OKボタンまたは右ボタンを押してサブメニューに入ります。
3. 上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押します。
 高 : 効果を強調します。
 標準 : 効果を加えます。
 低 : 少し効果を加えます。
 キャンセル : 効果を加えません。
4. 上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押して決定します。
 上書き : 元のファイルに上書きして保存します。
 名前付け保存 : 新しいファイル番号で保存します。
 キャンセル : 保存しません。

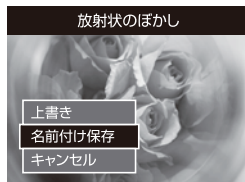
2.



3.



4.



◆ 処理には多少の時間がかかります。



設定モード

設定メニュー

カメラの様々な設定を行います。

1. カメラの電源をオンにします。
2. メニューボタンを押します。
3. 左または右ボタンを押して、「 設定」を選択し、設定メニューを表示します。
4. 上または下ボタンを押し、各項目を選択します。

2.



3.



◆ 選択されている項目は、黄色枠で表示されます。



設定モード

🔊 操作音

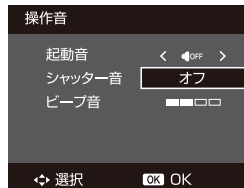
カメラの操作に関する操作音を設定します。

1. 設定メニューを表示します。P.86「設定メニュー」をご覧ください。
2. 上または下ボタンを押して「操作音」を選択し、
OKボタンまたは右ボタンを押してサブメニューに入ります。
3. 上または下ボタンを押し、下記のいずれかを選択し、左または右ボタンを押して決定します。
起動音 : 起動時の音をサウンド1、サウンド2、サウンド3から選択します。
シャッター音 : オン・オフを選択します。
ピープ音 : ピープ音の音量を選択します。
4. 設定メニュー画面に戻ります。
5. 再度メニューボタンを押すと、撮影画面に戻ります。

2.



3.



◆ ピープ音をオフにしますと、起動音・シャッター音もオフになります。



設定モード

自動電源オフ（省電力）（初期設定:1分）

カメラを操作しない時間が一定時間続くと、電力節約のためカメラの電源が自動的にオフになります。

1. 設定メニューを表示します。P.86「設定メニュー」をご覧ください。
2. 上または下ボタンを押して「省電力」を選択し、OKボタンまたは右ボタンを押してサブメニューに入ります。
3. 上または下ボタンを押し、下記のいずれかを選択し、OKボタンを押して決定します。
 - 1分：液晶のオフ後、1分間操作しないと、電源が自動的にオフになります。
 - 3分：液晶のオフ後、3分間操作しないと、電源が自動的にオフになります。
 - 5分：液晶のオフ後、5分間操作しないと、電源が自動的にオフになります。
 - オフ：液晶のオフ後、自動電源オフ機能を無効にします。
4. 設定メニュー画面に戻ります。
5. 再度メニューボタンを押すと、撮影画面に戻ります。

2.



3.



- ◆ カメラを約1分間操作をしない場合、液晶モニターがオフになります。いずれかのボタンを押すと、液晶モニターがオンに戻ります。
- ◆ 以下のような場合、自動電源オフは作動しません。
 - ・動画を撮影中または音声を録音中の場合
 - ・スライドショー・動画ファイル・音声ファイルを再生中の場合
 - ・USB-PC接続ケーブルを使用中の場合



設定モード

液晶の減光（初期設定:オン）

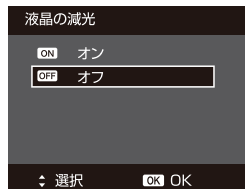
20秒間以上カメラを操作しない時間が続くと、電力節約のため液晶モニターの明るさが自動的に減光します。元の明るさに戻す場合は、いずれかのボタンを押します。

1. 設定メニューを表示します。P.86「設定メニュー」をご覧ください。
2. 上または下ボタンを押して「液晶の減光」を選択し、OKボタンまたは右ボタンを押してサブメニューに入ります。
3. 上または下ボタンを押し、下記のいずれかを選択し、OKボタンを押して決定します。
☒ **ON** オン: 液晶の減光機能を有効にします。
☐ **OFF** オフ: 液晶の減光機能を無効にします。
4. 設定メニュー画面に戻ります。
5. 再度メニューボタンを押すと、撮影画面に戻ります。

2.



3.



- ◆ 以下のような場合、液晶減光機能は作動しません。
- スライドショー・動画ファイル・音声ファイルを再生中の場合

日付設定

P.17「日付と時刻の設定」をご覧ください。

言語

P.18「言語の設定」をご覧ください。



設定モード

📁 ファイル番号（初期設定:続き）

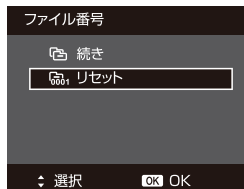
ファイル番号の割り当て方法を設定します。

1. 設定メニューを表示します。P.86「設定メニュー」をご覧ください。
2. 上または下ボタンを押して「ファイル番号」を選択し、OKボタンまたは右ボタンを押してサブメニューに入ります。
3. 上または下ボタンを押し、下記のいずれかを選択し、OKボタンを押して決定します。
 📁 続き : フォルダが変更されても、ファイル番号を連続で割り当てます。
 📁 リセット: フォルダ変更されるたびに、ファイル番号は0001から始まります。
4. 設定メニュー画面に戻ります。
5. 再度メニューボタンを押すと、撮影画面に戻ります。

2.



3.



◆リセットに設定の場合、フォーマットするとファイル番号が0001から始まります。
 パソコンに保存する場合、上書き保存にご注意ください。

📺 TV放送方式

本機はTV接続に対応していません。あらかじめご了承ください。



設定モード

液晶輝度（初期設定:標準）

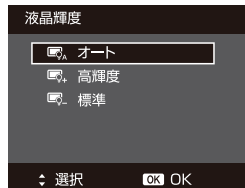
液晶モニターの明るさを設定します。

1. 設定メニューを表示します。P.86「設定メニュー」をご覧ください。
2. 上または下ボタンを押して「液晶輝度」を選択し、OKボタンまたは右ボタンを押してサブメニューに入ります。
3. 上または下ボタンを押し、下記のいずれかを選択し、OKボタンを押して決定します。
 - オート：自動で輝度を調整します。
 - 高輝度：明るめに表示します。
 - 標準：標準的な輝度で表示します。
4. 設定メニュー画面に戻ります。
5. 再度メニューボタンを押すと、撮影画面に戻ります。

2.



3.



◆ 高輝度に設定すると屋外でも見やすくなりますが、電池の消耗が早くなります。



設定モード

電池の種類（初期設定:アルカリ）

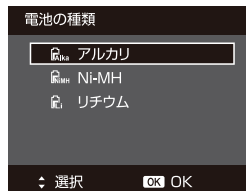
使用中の電池の種類を設定し、液晶モニター上での電池残量を正しく表示します。

1. 設定メニューを表示します。P.86「設定メニュー」をご覧ください。
2. 上または下ボタンを押して「電池の種類」を選択し、OKボタンまたは右ボタンを押してサブメニューに入ります。
3. 上または下ボタンを押し、下記のいずれかを選択し、OKボタンを押して決定します。
 - アルカリ：アルカリ乾電池を使用中の場合に選択します。
 - Ni-MH：ニッケル水素充電電池を使用中の場合に選択します。
 - リチウム：リチウムイオン乾電池を使用中の場合に選択します。
4. 設定メニュー画面に戻ります。
5. 再度メニューボタンを押すと、撮影画面に戻ります。

2.



3.





設定モード

📁 メモリキット（初期設定:フォーマット）

メモリーカード内のファイルを管理します。

1. 設定メニューを表示します。P.86「設定メニュー」をご覧ください。
2. 上または下ボタンを押して「メモリキット」を選択し、OKボタンまたは右ボタンを押してサブメニューに入ります。
3. 上または下ボタンを押し、下記のいずれかを選択し、OKボタンを押します。

フォーマット : メモリーをフォーマット(初期化)します。

フォーマット P.14をご覧ください。

カードへコピー : 内蔵メモリーのファイルを、SDメモリーカードにコピーします。

〈「カードへコピー」を選択した場合〉

内蔵メモリーのファイルをSD/SDHCメモリーカードにコピーします。

A-1. 上または下ボタンを押し、下記のいずれかを選択して、OKボタンを押して決定します。

はい : 内蔵メモリーの全てのファイルをSDメモリーカードにコピーします。

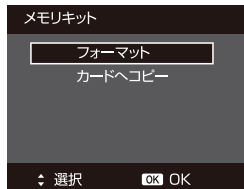
キャンセル : SDメモリーカードにコピーしません。

4. 設定メニュー画面に戻ります。
5. 再度メニューボタンを押すと、撮影画面に戻ります。

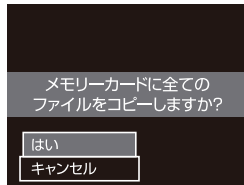
2.



3.



A-1.



- ◆SDメモリーカードスロットにSDメモリーカードが挿入されていない場合、「カードへコピー」は使用できません。



設定モード

❏ 初期設定（全てリセット）

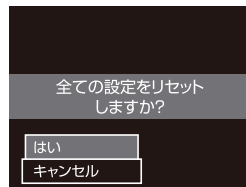
カメラの設定を、工場出荷時の設定に戻します。

1. 設定メニューを表示します。P.86「設定メニュー」をご覧ください。
2. 上または下ボタンを押して「全てリセット」を選択し、OKボタンまたは右ボタンを押してサブメニューに入ります。
3. 上または下ボタンを押し、下記のいずれかを選択し、OKボタンを押して決定します。
はい : 工場出荷時の設定に戻します。
キャンセル: 工場出荷時の設定に戻しません。
4. 設定メニュー画面に戻ります。
5. 再度メニューボタンを押すと、撮影画面に戻ります。

2.



3.



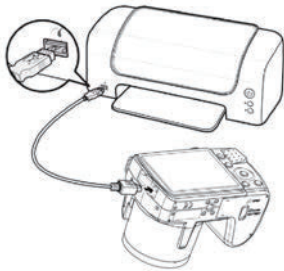
◆ 日付と時刻・言語・電池の種類は、初期設定に戻してもリセットされません。



プリンターとの接続

プリンターとの接続

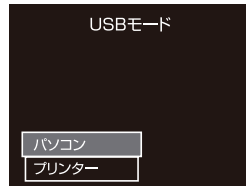
パソコンを経由せずに、撮影した静止画をご家庭のプリンターでプリントすることができます。
カメラがダイレクトプリント対応プリンターに接続されていない場合、
液晶モニターにエラーメッセージが表示される場合があります。



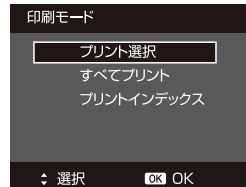
1. カメラとプリンターの電源をオンにします。
2. 付属のUSB・PC接続ケーブルのミニ端子(小さい方)をカメラに、
USB端子(大きい方)をプリンターに接続します。
3. 「USBモード」が表示されます。
上または下ボタン押し、「プリンター」を選択してOKボタンを押します。
4. 上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押します。

プリント選択 : 画像を選択してプリントします。
すべてプリント : すべての静止画をプリントします。
プリントインデックス: 索引プリントします。

3.



4.



●次ページへ続く



プリンターとの接続

「プリント選択」を選択した場合

A-1. 左または右ボタンを押してプリントする画像を選択し、
上または下ボタンを押してプリント枚数を設定します。
機能ボタンを押して日付プリントのオン・オフを設定し
ます。設定後、OKボタンを押します。

A-2. 上または下ボタンを押し、「用紙サイズ」を選択します。
左または右ボタンを押して下記のいずれかを選択し
ます。

初期値：プリンターの初期設定値

4×6：4インチ×6インチサイズ

A4：A4サイズ

A-3. 上または下ボタンを押し、「画質」を選択します。
左または右ボタンを押して下記のいずれかを選択し
ます。

初期値：プリンターの初期設定値

ファイン：高画質

標準：標準画質

A-4. 上または下ボタンを押し、「プリント」または「キャンセル」
を選択し、OKボタンを押します。

プリント：プリントを開始します。

キャンセル：プリントをしません。

プリント中は「印刷中」と表示されます。

「印刷中」と表示中にメニューボタンを押すとプリント
を中止します。他の画像もプリントする場合は、A-1.
～A-4.を繰り返します。

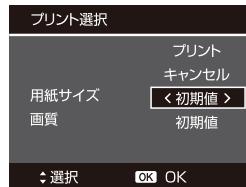
A-1.



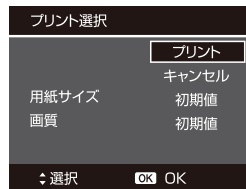
A-3.



A-2.



A-4.



●次ページへ続く



プリンターとの接続

「すべてプリント」を選択した場合

B-1. 上または下ボタンを押してプリント枚数を設定します。
機能ボタンを押して日付プリントのオン・オフを設定します。設定後、OKボタンを押します。

B-2. 上または下ボタンを押し、「用紙サイズ」を選択します。
左または右ボタンを押して下記のいずれかを選択します。

初期値：プリンターの初期設定値
4"×6"：4インチ×6インチサイズ
A4：A4サイズ

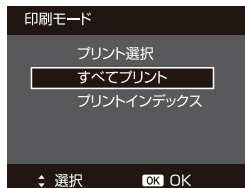
B-3. 上または下ボタンを押し、「画質」を選択します。
左または右ボタンを押して下記のいずれかを選択します。

初期値：プリンターの初期設定値
ファイン：高画質
標準：標準画質

B-4. 上または下ボタンを押し、「プリント」または「キャンセル」を選択し、OKボタンを押します。

プリント：すべての静止画をプリントします。
キャンセル：プリントをしません。

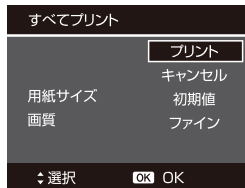
プリント中は「印刷中」と表示されます。
「印刷中」と表示中にメニューボタンを押すとプリントを中止します。



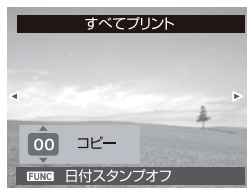
B-2.



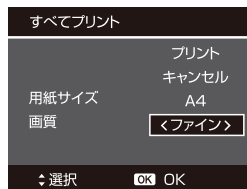
B-4.



B-1.



B-3.





プリンターとの接続

「プリントインデックス」を選択した場合

C-1. 上または下ボタンを押してプリント枚数を設定します。
設定後、OKボタンを押します。

C-2. 上または下ボタンを押し、「用紙サイズ」を選択します。
左または右ボタンを押して下記のいずれかを選択します。

初期値：プリンターの初期設定値

4"×6"：4インチ×6インチサイズ

A4：標準画質

C-3. 上または下ボタンを押し、「画質」を選択します。
左または右ボタンを押して下記のいずれかを選択します。

初期値：プリンターの初期設定値

ファイン：高画質

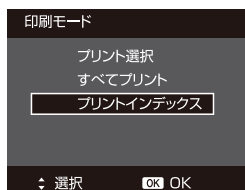
標準：標準画質

C-4. 上または下ボタンを押し、「プリント」または「キャンセル」を選択し、OKボタンを押します。

プリント：すべての静止画を
インデックスプリントをします。

キャンセル：インデックスプリントをしません。

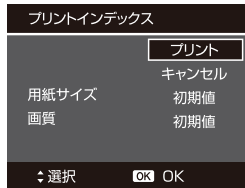
プリント中は「印刷中」と表示されます。
「印刷中」と表示中にメニューボタンを押すとプリントを
中止します。



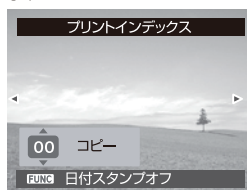
C-2.



C-4.



C-1.



C-3.



- ◆ 選択されている項目は、黄色枠で表示されます。
- ◆ お使いのプリンターにより、設定・表示等は異なります。
- ◆ お使いのプリンターの初期設定は、プリンターの取扱説明書をご覧ください。



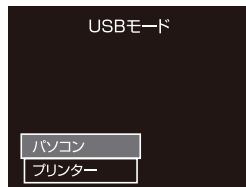
パソコンとの接続

パソコンへ接続する

カメラとパソコンを接続し、ファイルをパソコンに取り込みます。

1. 付属のUSB-PC接続ケーブルのUSB端子(大きい方)をパソコンに接続し、もう片方のUSB端子(小さい方)をカメラに接続します。
2. パソコンとカメラの電源を入れます。
3. カメラの液晶モニターに「USBモード」が表示されます。
上または下ボタンを押し、「パソコン」を選択してOKボタンを押します。
初めてパソコンに DSC-1600 を接続するとパソコンのモニターに「デバイスドライバーソフトウェアをインストールしています」と小さく表示され、しばらくすると「デバイスを使用する準備が出来ました」と表示されます。
4. 「接続中」表示後にしばらくして「PCモード」が表示され、カメラの液晶モニターが非表示になり、カメラの内蔵メモリとSDメモリーカードのファイルが、リムーバブルディスクとして表示されます。
5. ファイルは「スタート」→「コンピュータ」→「リムーバブルディスク」→「DCIM」→「100DICAM」等にあります。
6. 終了する時は、各OSに適した方法で安全に付属のUSB-PC接続ケーブルを外してください。

3.



◆カメラがパソコンに接続されると、カメラの液晶モニターの表示がオフになります。

◆お使いのパソコンのOS・バージョン等により表示は異なります。



パソコンとの接続

転送時のご注意

画像をパソコンに取り込む際には、以下の注意事項を必ず守ってください。



- [リムーバブルディスク]からコピーしている際(画像取り込み時)は、USB-PC接続ケーブル、SDメモリーカードを絶対に抜かないでください。内蔵メモリー、SDメモリーカードが破損する恐れがあります。
- [リムーバブルディスク]内にあるフォルダ及びファイルの名前を変更しないでください。
- [リムーバブルディスク]内にパソコンからデータなどをコピーしないでください。カメラの動作が不安定になる原因になります。
- [リムーバブルディスク]をパソコンでフォーマットしないでください。
- [DCIM]フォルダ内にあるファイルデータは、カメラ内に保存されているファイルデータを表示しています。このフォルダにあるフォルダにあるデータを削除してしまうと、カメラ内の画像が消去されてしまいますのでご注意ください。

ファイル名について

ファイル名は「DSCI」で始まり、連番の4桁の数字が後に付きます。新しいフォルダのファイル番号は0001から始まります。フォルダ番号が999またはファイル番号が9999を超える場合、「フォルダを作成することができません」という警告メッセージが表示されます。その場合はP.90「ファイル番号」をご覧ください、ファイル番号リセットをしてください。



- パソコン上で、メモリーカード内のフォルダ名およびファイル名を変更しないでください。カメラでファイルを再生できない可能性があります。



付属アプリケーション

▶ 付属ソフトの説明

▶ Media Impression

静止画・動画の再生および簡単な編集をします。

▶ User Manual Guide

付属のCD-ROM内に(英語・フランス語・ドイツ語・イタリア語・簡体中国語・スペイン語)の6カ国語の取扱説明書が入っています。

▶ Adobe Acrobat Reader

付属CD-ROM内の取扱説明書を読むソフトです。



◆お使いのプリンターに既に Acrobat Reader がインストールされている場合は、インストールは不要です。



付属アプリケーション

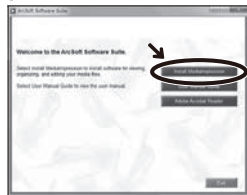
付属ソフトのインストール

Media Impressionのインストール

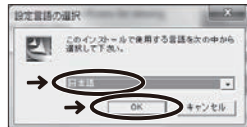
1. 付属のCD-ROMを、パソコンのCD-ROMドライブにセットします。
2. インストール画面が自動的に立ち上がります。
自動的に立ち上がらない場合は、「スタート」→「コンピュータ」の順にクリックし、CD-ROMドライブを右クリックして開きます。
「Set up」をダブルクリックしてください。
3. 「Install Media Impression」をクリックします。
4. 「設定言語の選択」が表示されます。
「日本語」等を選択し、「OK」をクリックします。
インストールの準備が始まります。
5. 「Media Impression 用のInstall Shield Wizard へようこそ」が表示されます。
「次へ」をクリックします。
6. 「使用許諾契約」が表示されます。
内容を確認後、同意する場合は「はい」をクリックします。

●次ページへ続く

3.



4.



5.



6.





付属アプリケーション

7. 「インストール先の選択」が表示されます。
確認後、「次へ」をクリックします。
8. 「プログラムフォルダの選択」が表示されます。
確認後、「次へ」をクリックします。
インストールが開始されます。
9. 「関連付けられたファイル形式」が表示されます。
確認後、「次へ」をクリックします。
10. しばらくして「Install Shield Wizard の完了」が表示されます。
「完了」をクリックします。
11. インストール画面に戻ります。
パソコンを再起動してソフトウェアを有効にします。

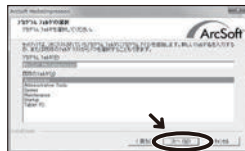


◆お使いのパソコンのOS・バージョン等により表示が異なる場合があります。
あらかじめご了承ください。

7.



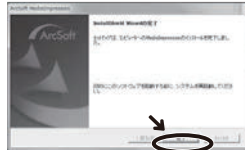
8.



9.



10.





付属アプリケーション

Adobe Acrobat Readerのインストール

お使いのパソコンにすでに「Adobe Reader」がインストールされている場合は、インストールは不要です。

1. 付属のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブにセットします。
2. インストール画面が自動的に立ち上がります。
立ち上がらない場合は、「Media Impression」のインストールを参考にしてください。
「Adobe Reader」をクリックします。
3. Adobe社のホームページに接続しますが英文です。
Download「Adobe Reader」をクリックしてインストールします。
無料です。
日本語のホームページは
<http://www.adobe.com/jp/>をご覧ください。
同様にダウンロード「Adobe Reader」をクリックします。
英語版と同様に無料です。
4. 画面の指示に従ってインストールします。

2.



- ◆ Adobe Readerのインストールには、インターネットに接続する環境が必要になります。
- ◆ インターネットへの接続に必要な通信費等は、お客様の負担となります。あらかじめご了承ください。



付属アプリケーション

付属CD-ROM内の取扱説明書(User Manual Guide)

1. 付属のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブにセットします。
2. インストール画面が自動的に立ち上がります。
立ち上がらない場合は、「Media Impression」のインストールを参考にしてください。
3. 「User Manual Guide」をクリックします。
4. 取扱説明書(PDF)が表示されます。

初回のみ使用許諾契約書が表示される場合があります。
内容をお読みになり、同意する場合は「同意する」をクリックします。



- ◆出荷先(国・地域)により、仕様等が異なります。
従いましてCD-ROM内の取扱説明書の説明範囲・内容の一部が日本仕様と異なります。あらかじめご了承ください。



付属アプリケーション

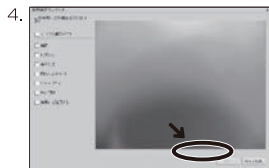
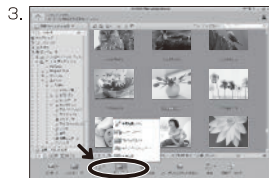
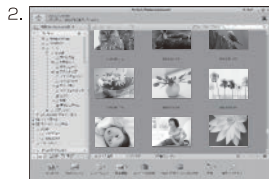
▶ 付属ソフトを使用する

▶ Media Impressionを使用する

1. デスクトップに作成されたMedia Impressionのアイコンをダブルクリックします。
Media Impressionが立ち上がります。
2. 写真を編集する場合は、写真をクリックして、保存先を選択します。
例としてデスクトップに仮保存した「DCIM」→「100DICAM」を表示しています。
3. 編集する写真をクリックしてから下段の「写真編集」をクリックします。
4. ポップアップしたウィンドウから「簡単補正」をクリックして編集します。



- ◆ 詳しい使用方法は、ソフトウェアのヘルプをご覧ください。
右上の「その他」→「ヘルプ」の順にクリックしてください。
- ◆ 付属CD-ROM内の「Media Impression」は、バンドル版です。
製品版のすべての機能が使用できるわけではありません。あらかじめご了承ください。





トラブルシューティング

📌 こんなときは

症状	原因	対策
電源が入らない。	電池の取り付け方向は間違っていますか？	電池の＋を確認し、正しい方向でセットしてください。(P.10 参照)
	電池残量は充分ですか？	新しいアルカリ乾電池に交換または再充電してください。(P.10 参照)
電池またはカメラが熱を持っている	カメラの連続使用またはフラッシュによるもので、異常ではありません。	
電源を入れても起動画面中に切れる	電池の残量不足では？ マンガン乾電池を使用していますか？	新しいアルカリ乾電池に交換または再充電してください。(P.10 参照)
シャッターボタンを押しても写真が撮れない。	シャッターボタンが完全に押されていますか？	シャッターボタンを完全に押し込んでください。
	メモリーカードの残量は充分ですか？	新しいメモリーカードを使用するか、不要なファイルを消去してください。(P.13・70 参照)
	フラッシュが充電中では？	充電が終わるまで暫くお待ちください。
	メモリーカードがライトプロテクトされていませんか？	ライトプロテクトを解除してください。(P.13 参照)
写真が撮れない。	フラッシュが充電中では？	充電が終わるまで暫くお待ちください。
	メモリーカードの残量は充分ですか？	新しいメモリーカードを使用するか、不要なファイルを消去してください。(P.13・70 参照)
	メモリーカードは正しくフォーマットされていますか？	メモリーカードが壊れている可能性があります。新しいメモリーカードをDSC1600でフォーマットしてからご使用ください。
ピントが合わない。	レンズが汚れていませんか？	レンズペーパーや柔らかく乾いた布でレンズを拭いてください。
	正しい撮影距離で撮影していますか？	正しい撮影距離で撮影してください。(P.30 参照)
ファイルが削除できない。	ファイルが保護されていませんか？	保護解除してください。(P.73 参照)
	メモリーカードがライトプロテクトされていませんか？	ライトプロテクトを解除してください。(P.13 参照)
ファイルをダウンロードできない。	ハードディスクの空き容量は充分ですか？	ハードディスクの容量が充分かどうかご確認ください。



記録可能枚数

▶ 静止画の記録可能枚数

静止画 サイズ	SDHC メモリーカード 4GB		
	画 質		
	スーパーファイン	ファイン	標準
14M	586	933	1378
12M (3:2)	659	1045	1555
8M	1155	1810	2696
5M	1810	2821	4183
3M	2821	4333	5274
2M (16:9)	3370	4852	6385
VGA	15165	17332	20220



◆撮影の状況・被写体によって記録されるファイルサイズが一定でないため、記録可能枚数に差が出ます。

上記表は目安としてご参考下さい。

◆記録可能枚数に達する前に、電池残量が無くなる場合があります。



仕様

製品仕様

イメージセンサー	1/2.33型 CCD
総画素数	1644万画素
有効画素数	約1600万画素
レンズ	f = 4.5~94.5mm F3.1/5.8
35mmフィルム判換算	25mm~525mm相当
ズーム	光学：2.1倍、デジタル5倍
撮影距離	標準：約1m ~ ∞(Wide) 約0.8m ~ ∞(中間域) ^{*1} 約1.5m ~ ∞(Tele) マクロ：約50cm ~ 100cm(Wide) 約1cm ~ 80cm(中間域) ^{*1} 約150cm ~ ∞(Tele)
液晶モニター	3.0型 TFT
内蔵メモリー	128MB
外部メモリー	SDメモリーカード：(32MB~4GB) SDHCメモリーカード：(4GB~32GB) ^{*3}
ファイル形式	静止画：JPEG 動画：MJPEG(AVI) 音 声：WAV
静止画サイズ	16M、12M(3:2)、5M、3M、2M(16:9)、VGA
動画サイズ	1280×720(16:9) ^{*2} 、640×480、 320×240、640×480(web)
シャッタースピード	1/2000~1秒(オート)

*1 中間域とはP.30撮影距離をご覧ください。

*2 HDサイズですが、標準画質になります。

*3 class6以上を推奨

ISO感度	自動、ISO100、200、400、800、1600 3200(3M、16:9(2M)、VGA)、 6400(3M、16:9(2M)、VGA)
セルフタイマー	オフ、2秒、10秒+2秒(2枚)
内蔵フラッシュ	モード：自動、赤目軽減、強制発光、スローシンクロ、 発光禁止 有効範囲：約1~3 m(W)、1m~1.5m(T)
露出補正	±2.0EV (1/3EVステップ)
ホワイトバランス	自動、太陽光、曇り、白熱灯、蛍光灯1、蛍光灯2
電源	単3形アルカリ乾電池(4本) P.92「電池の種類」をご覧ください。
手ぶれ軽減機能	装備(光学式)
出入力ポート	USB 2.0
DPOFプリント	対応
ダイレクトプリント	対応(PictBridge準拠)
寸法	約112×75×78mm
重量	約359g (付属品、電池を含まず) 約455g (電池、SDメモリーカードを含む参考値)



パソコン環境

以下の条件を満たすパソコンが必要となります。

●下記OSがプリインストールされたパソコン

	Windows 対応 OS
	Windows XP(SP2) / Vista(32bit) / 7(32/64bit)
CPU	Intel Pentium 4 2.0GHz 以上
メモリ	512MB 以上 (1GB を推奨)
ビデオカード	64MB 以上
ドライブ	CD-ROM 必須
インターフェース	USB 2.0

動作保証について

- 上記動作環境は最低限の条件を満たした仕様です。ご使用のOSに対応した動作環境が必要となります。
- 動作環境を満たすPC中でも、一部機種の設定、構成により正常に動作しない場合があります。あらかじめご了承ください。
- 各OSからアップグレードしたパソコンでは動作保証致しません。
- USBハブや拡張USBポートに接続した状態での使用、自作機および改造を加えたパソコンについては動作保証いたしません。
- Mac OS 10.3以降では動作しますが、サポート外となります。あらかじめご了承ください。